

第1学年 情報基礎管理学

時間数	30時間 (2時間×15回)
責任者・コーディネーター	教養教育センター 情報科学科 数学分野 准教授 長谷川 大
担当教員	教養教育センター 情報科学科 数学分野 准教授 長谷川 大
一般目標	パーソナル・コンピュータ実習を通して、日常臨床あるいは研究活動上の諸問題を、情報処理という枠組みの中で解決するために必要な論理的思考法と構成的推論能力を養う。実践的には、文書作成、表計算の利用、インターネットによる情報検索、メールの送受信などの基本的なコンピュータ操作能力を身に付けることを到達目標とする。さらにLANの利用によって、情報ネットワーク社会の一員としての自覚と責任を十分に理解し、他者の立場を尊重し、かつ自己の安全を守るためのネットワーク倫理規範を学ぶことも大切な目標である。
成績評価	提出課題の内容(100%)で評価する。
教科書	「学生のための情報リテラシーOffice2016/Windows10版」 (東京電機大学出版局、若山芳三郎著)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目	学習到達目標
1	8	17	月	2	長谷川	第1実習室	Windowsの基本操作・ネットリテラシー(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・Windowsの基本操作を習得する。 ・周辺装置を正しく利用できる。 ・入力装置からの入力操作が支障なく行える。 ・Webブラウザの基本操作を習得する。 ・インターネット検索を適切に行える。
2	9	7	月	2	長谷川	第1実習室	Windowsの基本操作・ネットリテラシー(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダウンロードしたファイルを保存し、開くことができる。 ・Webメールのアカウントを作ることができる。 ・電子メールを送受信できる。 ・電子メールにファイルを添付して送信することができる。 ・電子メールに添付されたファイルを保存し、開くことができる。 ・ネットリテラシーを習得する。
3	9	16	水	4	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・Wordを起動させ、簡単な文書を作成・保存して終了させることができる。 ・保存した文書ファイルを開き更新することができる。 ・外部メディアにフォルダを作成し、作成した文書ファイルを保存できる。 ・タブとボタンの機能を理解する。
4	9	28	月	2	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・記号を入力できる。 ・文字のサイズ・フォント・スタイルや位置を編集できる。 ・表を作成し、罫線機能を支障なく使用できる。
5	9	30	水	4	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ワードアートの基本操作を習得する。 ・写真の貼り付けができる。 ・文書のレイアウトを適切に調節できる。
6	10	7	水	4	長谷川	第1実習室	ワードプロセッサ(4)	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の登録ができる。 ・簡単なビジネス文書が作れる。 ・簡単な案内状が作れる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目	学習到達目標
7	10	19	月	2	長谷川	第1実習室	表計算(1)	<ul style="list-style-type: none"> Excelを起動し、簡単な計算表を作成・保存して終了させることができる。 保存した計算表を開き更新することができる。 タブとボタンの機能を理解する。
8	10	26	月	2	長谷川	第1実習室	表計算(2)	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な計算式が使える。 簡単な関数を利用できる。 相対参照と絶対参照の違いを理解し、セルのコピーが適切にできる。 データシート作成に必要な書式・挿入等の機能を使用できる。
9	11	4	水	4	長谷川	第1実習室	表計算(3)	<ul style="list-style-type: none"> 使用頻度の高い関数を支障なく使用できる。 データの並べ替えができる。 レコードの抽出ができる。 グラフを作成できる。
10	11	9	月	2	長谷川	第1実習室	表計算(4)	<ul style="list-style-type: none"> 作成した表やグラフをカスタマイズできる。 作成したデータベースについて、表計算やグラフ作成ができる。
11	11	16	月	2	長谷川	第1実習室	画像処理	<ul style="list-style-type: none"> デジタル画像のコンピュータの処理手順を理解し、画像加工技術の基本を習得する。 デジタル画像をコンピュータ内に取り込むことができる。 画像処理ソフトを起動し、画像を作成した後で保存できる。
12	11	25	水	4	長谷川	第1実習室	プレゼンテーション・ソフト(1)	<ul style="list-style-type: none"> PowerPointによるスライド作成手順の習得を通して、より正確で効果的なプレゼンテーションの方法について学ぶ。 PowerPointを起動し、スライドを作成・保存し、終了できる。 スライド作成に必要な書式・挿入・表示機能を習得できる。
13	11	30	月	2	長谷川	第1実習室	プレゼンテーション・ソフト(2)	<ul style="list-style-type: none"> スライドに外部オブジェクトを挿入・リンクすることができる。 スライドの構成(=発表内容の章立て)について習得している。 マルチメディア機能を効果的に適用できる。
14	12	7	月	2	長谷川	第1実習室	プレゼンテーション・ソフト(3)	<ul style="list-style-type: none"> スライドショーを実行させることができる。 発表内容に対して適切なアニメーションを設定できる。 PowerPointによるプレゼンテーションができる。 プレゼンテーションの際の話し方、説明の仕方を自分なりに決められる。
15	12	14	月	2	長谷川	第1実習室	プレゼンテーション・ソフト(4)	<ul style="list-style-type: none"> 課題作成を通して、これまでに履修した技術・知識を自己点検するとともにデジタルプレゼンテーションにより外部評価を受ける。 他人のプレゼンテーションを適切に評価できる。

第1学年 外国語(英語)

時間数	16時間 (2時間×8回)
責任者・コーディネーター	教養教育センター 外国語学科(英語分野) 准教授 柳谷 千枝子
担当教員	教養教育センター 外国語学科(英語分野) 准教授 柳谷 千枝子
一般目標	英語で健康と医療に関する知識を修得することで、将来歯科衛生士として活躍する際に必要な技能を身につけ、活用することができる。また、国際社会の一員として、異文化に対する理解を深めることができる。
成績評価	定期試験(70%)、小テスト(20%)、提出課題(5%)、発話(5%)
教科書	Medical English Clinic (センゲージラーニング、2015)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	15	水	2	柳谷	Unit 1: First Visit	<ul style="list-style-type: none"> 英語で自己紹介文を書き、正確に伝達できる。 英語の会話(問診)を聴いて内容を理解し、設問に答えることができる。
2	4	22	水	2	柳谷	Unit 2: At the Examination Room	<ul style="list-style-type: none"> 英語の会話(診療)を聴いて内容を理解し、設問に答えることができる。 診療に関わる医療英語を学習し、英語で表現できる。
3	5	14	木	2	柳谷	Unit 4: Pain Problems	<ul style="list-style-type: none"> 英語の会話(痛みの種類)を聴いて内容を理解し、設問に答えることができる。 痛みに関わる医療英語を学習し、英語で表現できる。
4	5	20	水	2	柳谷	Unit 5: Stomachache	<ul style="list-style-type: none"> 英語の会話(消化器)を聴いて内容を理解し、設問に答えることができる。 胃腸や摂食障害に関わる医療英語を学習し、英語で表現できる。
5	5	27	水	2	柳谷	Unit 9: Anemia	<ul style="list-style-type: none"> 英語の会話(貧血)を聴いて内容を理解し、設問に答えることができる。 貧血や食事に関わる医療英語を学習し、英語で表現できる。
6	6	3	水	2	柳谷	Unit 10: Injury	<ul style="list-style-type: none"> 英語の会話(怪我)を聴いて内容を理解し、設問に答えることができる。 怪我や処置に関わる医療英語を学習し、英語で表現できる。
7	6	10	水	2	柳谷	Unit 12: Alcohol Poisoning	<ul style="list-style-type: none"> 英語の会話(急性アルコール中毒)を聴いて内容を理解し、設問に答えることができる。 急性アルコール中毒や処置に関わる医療英語を学習し、英語で表現できる。
8	6	24	水	2	柳谷	Dental Topics (ハンドアウト)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康に関する英文を読んで、内容を説明できる。 歯に関する様々な語彙を学習し、英語で表現できる。
	8	25	火	4	定期試験		

第1学年 プレゼンテーション基礎

時間数	10時間(2時間×5回)
責任者・コーディネーター	教務主任 鈴木 奈津子
担当教員	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	プレゼンテーションでは自分の考え、思いを相手に伝え、興味を持たせ、理解させ、相手と情報を共有することが求められている。1年次では小集団の中で自分の意見を述べるための知識・技術・態度を身につける。
成績評価	レポート評価(100%)
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	6	5	金	3	鈴木	第1講義室	オリエンテーション コミュニケーションの基本原則 3分間プレゼンテーション① 1) 部活動 2) 好きな食べ物 3) 生まれ変わるなら	<ul style="list-style-type: none"> ・学ぶ内容を理解できる。 ・コミュニケーションの基本原則を理解できる。 ・考え、思いを3分にまとめて口頭発表できる。 ・コミュニケーションの基本原則を実践できる。 ・発表に対し質問ができる。
2	6	10	水	3	鈴木	第1講義室	3分間プレゼンテーション② 1) 高校教師 2) 好きな音楽 3) インターネットがなかったら	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、思いを3分にまとめて口頭発表できる。 ・コミュニケーションの基本原則を実践できる。 ・発表に対し質問ができる。
3	7	2	木	2	鈴木	第1講義室	3分間プレゼンテーション③ 1) この学校を志望した理由 2) 友達 3) 10万円もらったら	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、思いを3分にまとめて口頭発表できる。 ・コミュニケーションの基本原則を実践できる。 ・発表に対し質問ができる。
4	7	21	火	3	鈴木	第1講義室	3分間プレゼンテーション④ 1) 憧れの大人 2) フリーテーマ 3) 違う職業を目指すとしたら	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、思いを3分にまとめて口頭発表できる。 ・コミュニケーションの基本原則を実践できる。 ・発表に対し質問ができる。
5	8	20	木	2	鈴木	第1講義室	3分間プレゼンテーション⑤ 1) 行ってみたい国、場所 2) フリーテーマ 3) 今、中学1年生になったら	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、思いを3分にまとめて口頭発表できる。 ・コミュニケーションの基本原則を実践できる。 ・発表に対し質問ができる。

第1学年 解剖学

時間数	20時間 (2時間×10回(講義))
責任者・コーディネーター	解剖学講座 機能形態学分野 准教授 吉岡 望
担当教員	解剖学講座 機能形態学分野 准教授 吉岡 望
一般目標	人体の仕組みと働きについて理解する。解剖学を単なる名称の暗記で終わらせることなく、他科目、臨床歯科学、そして最新の医学的知見と関連付けて理解する。医療従事者として必要な解剖学的特徴を理解して、問題解決能力をもつ歯科衛生士を目指す。
成績評価	定期試験の成績(90%)と提出物の内容(10%)で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」(医歯薬出版) 口腔顎顔面解剖ノート 第2版(学建書院)
参考書	初めの一步は絵で学ぶ「解剖生理学」(じほう)

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	16	木	1	吉岡	解剖学総論 骨学総論 1)骨格系の概要 2)骨の連結と分類 (一. I-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> •身体の区分、解剖学的方向用語、器官系について説明できる。 •骨の形と構造、骨の連結について説明できる。
2	4	23	木	1	吉岡	骨学各論 1)体幹の骨格 2)上肢の骨格 3)下肢の骨格 (一. I-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> •脊柱、胸郭の骨と連結について説明できる。 •上肢および下肢を構成する骨の形態的特徴と連結について説明できる。
3	4	30	木	1	吉岡	筋学 1)筋系の概要 2)体幹の筋 3)上肢と下肢の筋 (一. I-4-C、 II-6-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> •筋の起始、停止、および動作について説明できる。 •体幹を構成する筋と動作との関係について説明できる。 •上肢および下肢を構成する筋と動作との関係について説明できる。
4	5	14	木	1	吉岡	消化器系 1)消化器系の概要 2)食道、胃 3)小腸、大腸 4)肝臓、膵臓 (一. I-7-A)	<ul style="list-style-type: none"> •中空器官と実質器官について説明できる。 •口腔から肛門までの消化管の構成と解剖学的特徴について説明できる。 •肝臓、膵臓の機能と解剖学的特徴について説明できる。
5	5	21	木	1	吉岡	循環器系 1)脈管系の概要 2)心臓の構造 3)動脈系 4)静脈系 5)リンパ系 (一. I-2-A・B、 II-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> •体循環と肺循環について説明できる。 •血管の種類と構造について説明できる。 •心臓の位置、構造と各部屋の役割について説明できる。 •全身の主要な動脈と静脈の走行と分布範囲を説明できる。 •リンパ性器官の種類と機能について説明できる。
6	5	28	木	1	吉岡	感覚器系 1)聴覚器・平衡器 2)視覚器 3)外皮 4)味覚器 5)嗅覚器 (一. I-6-A・B、 II-8-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> •外耳、中耳、内耳の構造と解剖学的特徴を説明できる。 •聴覚と平衡覚の感覚細胞の存在部位と特徴について説明できる。 •眼球の構造と視細胞の種類について説明できる。 •味覚器と嗅覚器の存在場所と神経支配について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	6	4	木	1	吉岡	神経系 1) 中枢神経系 2) 末梢神経 3) 自律神経 (一. I-5-A~C、 II-7-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 中枢神経が脳と脊髄の2部からなることを説明できる。 大脳の構造と機能を説明できる。 脳室と髄膜について説明できる。 脳神経12対について説明できる。 自律神経について説明できる。
8	6	11	木	1	吉岡	呼吸器系 1) 呼吸器系の構成 2) 肺と胸郭の構造 (一. I-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔と鼻腔、咽頭、喉頭の構造的関係性について説明できる。 肺と胸郭の構造と機能について説明できる。
9	6	25	木	1	吉岡	泌尿器系と生殖器系 1) 腎臓のはたらき 2) 泌尿器の構造 3) 尿の生成 4) 男性生殖器と女性生殖器 (一. I-8-A、10-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 泌尿器系の構成について説明できる。 尿生成について説明できる。 男性および女性生殖器の概要について説明できる。 受精と着床について説明できる。
10	7	2	木	1	吉岡	内分泌系 1) 内分泌系の概要 2) 内分泌器官の種類とホルモン 3) 硬組織とホルモン (一. I-9-A)	<ul style="list-style-type: none"> 各器官の種類と位置を説明できる。 硬組織と内分泌について説明できる。 内分泌細胞、ホルモン、および作用を関連付けて説明できる。
	8	25	火	2	定期試験		

第1学年 組織・発生学

時間数	20時間(2時間×10回)
責任者・コーディネーター	解剖学講座 発生物・再生医学分野 講師 池崎 晶二郎
担当教員	解剖学講座 発生物・再生医学分野 特任教授 大津 圭史 解剖学講座 発生物・再生医学分野 講師 池崎 晶二郎
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人体を構成する細胞や組織の基本的な構造を理解する。 ・人体の発生、特に顎顔面の発生について理解する。 ・歯牙と歯周組織および口腔内諸組織の構造について理解する。
成績評価	中間試験(40%), 定期試験(50%), 課題提出(10%)により総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」 歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	15	水	1	池崎	細胞の構造と機能 人体を構成する基本組織 上皮と結合組織 (一. I-1-C、 二. II-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・細胞の微細構造とその機能を理解する ・人体を構成する組織の種類とその特徴を理解する。 ・上皮と結合組織の機能と分類, 構成細胞を理解する。
2	4	22	水	1	池崎	口腔粘膜 舌 (二. I-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔粘膜の特徴について理解する。 ・舌乳頭の種類と味蕾の機能と構造を理解する。
3	5	13	水	1	池崎	唾液腺・顎関節 (二. I-1-C、II-1-D、 I-1-F-c)	<ul style="list-style-type: none"> ・唾液腺の基本構造と三大唾液腺について理解する。 ・顎関節の構造を理解する。
4	5	20	水	1	池崎	エナメル質・象牙質・歯髄 (二. I-2-B-a、b、 II-2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・エナメル質, 象牙質, 歯髄の構造を理解する。
5	5	27	水	1	池崎	歯周組織1 (セメント質・歯根膜・歯槽骨) (二. I-2-B-c、d、 II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・セメント質, 歯根膜, 歯槽骨の構造, 構成する細胞, リモデリングを理解する。
6	6	10	水	1	池崎	歯周組織2 (歯肉) (二. I-2-B-e)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯肉の構造と組織学的特徴について理解する。
	6	24	水	1	池崎	中間試験	
7	7	1	水	1	池崎	歯と歯周組織の発生1 (二. I-3-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯胚の初期発生について理解する。 ・エナメル質, 象牙質の形成について理解する。
8	7	8	水	1	池崎	歯と歯周組織の発生2 (二. I-3-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯根形成と萌出に伴った周囲組織の変化について理解する。
9	7	15	水	1	池崎	発生学 (一. I-12-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・胚葉に由来する構造について理解する。 ・受精～胚子の成長の過程を理解する。
10	7	22	水	1	池崎	頭頸部の発生学 (二. I-3-A, B)	<ul style="list-style-type: none"> ・鰓弓由来の構造について理解する。 ・顎顔面, 口蓋, 舌の発生について理解する。
演習	8	18	火	3・4	大津 池崎	組織・発生学実習 歯、歯胚、歯周組織の観察 (矢巾キャンパス西4-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡を使って歯、歯胚、歯周組織の組織標本を観察し講義で学んだことを確認する。
	8	27	木	1	定期試験		

第1学年 生理学

時間数	16時間 (2時間×8回)
責任者・コーディネーター	生理学講座 病態生理学分野 教授 黒瀬 雅之
担当教員	生理学講座 病態生理学分野 教授 黒瀬 雅之
一般目標	ヒトの生命活動の基盤となる各臓器・組織の正常な機能とその調節メカニズムを理解し、歯科衛生士として必要な「健康な状態」の生理学的知識を習得する。また、全身状態が口腔環境や歯科診療に及ぼす影響を科学的視点で捉える基礎能力を養う。
成績評価	筆記試験(100%)の成績により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	14	火	1	黒瀬	生理学の基礎と細胞の構造 (一. I-1-C, II-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> 生理学を学ぶ意義を説明できる 恒常性の概念を正しく理解する 細胞膜を通る物質輸送を理解する 細胞内小器官の役割を列挙できる
2	4	14	火	2	黒瀬	生体電気信号の発生原理 (一. I-5-A, II-7-A)	<ul style="list-style-type: none"> 静止膜電位の発生機序を理解する 活動電位の発生過程を説明できる 各イオンの濃度勾配を理解する 全か無かの法則を正しく説明する
3	4	22	水	4	黒瀬	神経の興奮伝導と伝達 (一. I-5-A, II-7-A,B,C)	<ul style="list-style-type: none"> 神経線維の興奮伝導を説明できる 跳躍伝導の仕組みを理解する シナプス伝達の過程を記述できる 神経伝達物質の種類を列挙できる
4	5	13	水	4	黒瀬	体内環境の無意識的調節 (一. I-5-A, II-7-A,B,C)	<ul style="list-style-type: none"> 交感・副交感の二重支配を学ぶ 各受容体の種類と作用を理解する 臓器への自律神経作用を記述できる 歯科診療時の緊張反応を考察する
5	5	18	月	4	黒瀬	筋収縮の仕組みと特性 (一. I-4-C, II-6-A,B,C)	<ul style="list-style-type: none"> 骨格筋の微細構造を正しく理解する フィラメントの滑り説を説明できる 興奮収縮連関のプロセスを学ぶ 筋の力学的特性を正しく記述できる
6	5	25	月	4	黒瀬	心臓のポンプ作用と血圧 (一. I-2-A, II-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> 心臓の血液循環を説明できる 体循環と肺循環の経路を記述できる 血圧の調節メカニズムを説明できる 心電図を説明できる
7	6	1	月	4	黒瀬	ガス交換と呼吸の調節 (一. I-3-A, II-5-A,B,C)	<ul style="list-style-type: none"> 外呼吸と内呼吸の仕組みを理解する 肺活量と換気能を正しく説明できる 血液によるガス輸送を記述できる 呼吸の神経性調節を正しく理解する
8	6	8	月	4	黒瀬	ホルモンによる全身調節 (一. I-9-A, II-11-A,B)	<ul style="list-style-type: none"> 主要な内分泌腺と役割を列挙できる 分泌調節機構を説明できる 代謝を制御するホルモンを理解する 標的器官への生理作用を説明できる
演習	8	17	月	4	黒瀬	演習	<ul style="list-style-type: none"> 全身の生理的機能を統合し理解する 基礎的な国家試験問題を解説できる 各臓器の連携を正しく概説できる
	8	24	月	4	定期試験		

第1学年 口腔解剖学

時間数	30時間 (2時間×15回)
責任者・コーディネーター	解剖学講座 機能形態学分野 准教授 吉岡 望
担当教員	解剖学講座 機能形態学分野 准教授 吉岡 望
一般目標	口腔周囲や頭頸部の表面構造だけでなくそれらを裏打ちする筋肉、脈管及び神経の走行と機能や手術時の留意点などの関係性について理解する。歯を表わす記号や方向用語、歯の形態、好発する異常形態、咬合や歯の排列の正常構造を学修し、歯を鑑別できるように各特徴を理解する。歯科衛生士として口腔領域及び歯についての形態学的知識が重要であるだけでなく、臨床科目の理解において礎となっていることを理解する。
成績評価	定期試験の成績(80%)、確認テストの成績(5%)、提出物の内容(15%)で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」(医歯薬出版) 「口腔顎顔面解剖ノート第2版」(学建書院)
参考書	「口腔の機能と解剖」(南山堂)、「新しい歯の教科書」(池田書店)

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	13	月	1	吉岡	口腔・口唇・舌 1) 口腔の区分と粘膜・口唇 2) 固有口腔(口蓋) 3) 口腔底 4) 舌 (一. I-7-A-a、 二. I-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔の構造の区分と各部位の名称について説明できる。 口蓋粘膜の構造と粘膜下の構造について説明できる。 口腔底の構造について説明できる。 舌の区分と舌背、舌縁、舌下面の構造、名称、舌筋の種類について説明できる。
2	4	13	月	2	吉岡	唾液腺・鼻腔・咽頭・喉頭 1) 唾液腺 2) 鼻腔 3) 咽頭、喉頭 (一. I-3-A-a、7-A-b、 二. I-1-C・D・E)	<ul style="list-style-type: none"> 唾液腺の位置と解剖学的特徴、関連する神経や血管について説明できる。 鼻腔の構造について説明できる。 咽頭と喉頭の構造と筋肉の配置について説明できる。
3	4	20	月	1	吉岡	頭蓋の形態、頭蓋を構成する骨 1) 頭蓋の縫合と結合 2) 頭蓋底、眼窩 3) 側頭骨、蝶形骨 4) 後頭骨、篩骨 (一. I-4-A-c、 二. I-1-F-a, b)	<ul style="list-style-type: none"> 頭蓋骨を構成する骨について説明できる。 頭蓋に見られる縫合と結合、これらの発生に伴う変化について説明できる。 側頭骨、蝶形骨、後頭骨、篩骨の構造について説明できる。 顎顔面、歯に分布する神経の走行経路に関わる骨の構造を説明できる。
4	4	20	月	2	吉岡	頭蓋を構成する骨2 1) 上顎骨 2) 口蓋骨 3) 頬骨 (二. I-1-F-a)	<ul style="list-style-type: none"> 上顎骨、口蓋骨、頬骨の構造と各部位の名称について説明できる。 翼口蓋窩、鼻腔及び上顎洞について解剖学的特徴を説明できる。
5	4	27	月	1	吉岡	頭蓋を構成する骨3 1) 下顎骨 2) 舌骨 (二. I-1-F-a)	<ul style="list-style-type: none"> 下顎骨の構造と各部位の名称について説明できる。 舌骨の位置と付着する筋肉について説明できる。
6	4	27	月	2	吉岡	頭頸部の筋1 1) 表情筋 2) 咀嚼筋 (二. I-1-G-a, b)	<ul style="list-style-type: none"> 表情筋、咀嚼筋の種類、走行と機能について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	5	11	月	1	吉岡	頭頸部の筋2 1) 舌骨上筋群 2) 舌骨下筋群 3) 筋 隙 (二. I-1-G-c)	<ul style="list-style-type: none"> 舌骨上筋群・舌骨下筋群の種類と機能、神経支配について説明できる。 舌下隙、顎下隙、オトガイ下隙、翼突下顎隙と筋の関係について説明できる。
8	5	11	月	2	吉岡	顎関節 1) 顎関節の構造 2) 顎関節の運動と制限 頭頸部の動脈 1) 外頸動脈の枝の分布範囲 (二. I-1-F-c, G-b, H)	<ul style="list-style-type: none"> 顎関節を構成する骨、解剖学的構造、神経、脈管について説明できる。 顎運動に関わる筋、制限する構造について説明できる。 舌動脈、顔面動脈、顎動脈、浅側頭動脈の走行と分布範囲について説明できる。
9	5	18	月	1	吉岡	頭頸部の静脈とリンパ系 1) 静 脈 2) リンパ系 神経学 1 1) 脳神経の概要 2) 脳神経 V1、V2、XII (二. I-1-H-b, c, I-a)	<ul style="list-style-type: none"> 内頸静脈、外頸静脈の走行について説明できる。 頭頸部のリンパ節、扁桃について説明できる。 脳神経の分類と概略について説明できる。 三叉神経、舌下神経の支配と走行経路を説明できる。
10	5	18	月	2	吉岡	神経学 2 1) 脳神経 V3、VII、IX、X、XI 2) 頭頸部の自律神経 (二. I-1-I)	<ul style="list-style-type: none"> 下顎神経について説明できる。 顔面神経について説明できる。 舌咽、迷走、副神経について説明できる。 頭頸部の自律神経について説明できる。
11	5	25	月	1	吉岡	歯の解剖学総論 1) 歯の用語と記号と歯式 永久歯 1 1) 切 歯 2) 犬 歯 (二. I-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の定義、交換について説明できる。 歯で用いる記号、方向用語、歯の排列や咬合に関わる用語について説明できる。 切歯、犬歯の形態的特徴を理解し、前歯部の歯の構造について説明できる。
12	5	25	月	2	吉岡	永久歯 2 1) 小臼歯 2) 大臼歯 3) 永久歯の歯髄腔 (二. I-2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 小臼歯の形態的特徴を理解し、小臼歯の構造について説明できる。 大臼歯の形態的特徴を理解し、大臼歯の構造について説明できる。 歯髄腔の形状について特徴を説明できる。
13	6	1	月	1	吉岡	乳歯 1) 乳切歯 2) 乳犬歯 3) 乳臼歯 (二. I-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 永久歯と乳歯の形態学的特徴の違いを説明できる。 乳歯の歯種別の形態的特徴を説明できる。 乳歯の合目的形態について説明できる。
14	6	1	月	2	吉岡	歯列と咬合 1) 咬合と接触関係 2) 歯列弓と歯間隙 3) 顎骨と歯列弓の関係 (二. I-2-A・D)	<ul style="list-style-type: none"> 咬合と歯列弓について説明できる。 咬合彎曲、顎骨と歯列弓の関係について説明できる。 歯間隙と鼓形空隙について説明できる。
15	6	8	月	1	吉岡	歯の異常 1) 歯数の異常 2) 歯の大きさおよび形態の異常 3) 位置や萌出の異常 4) 癒合歯、癒着歯、双生歯 (二. I-2-A・C) 三. I-9-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯に関わる数や形態の異常について好発する歯種や発現部位について説明できる。 癒合歯、癒着歯、双生歯について違いを説明できる。
	8	26	水	1	定期試験		

第1学年 口腔生理学

時間数	16時間（2時間×8回）
責任者・コーディネーター	生理学講座 病態生理学分野 教授 黒瀬 雅之
担当教員	生理学講座 病態生理学分野 教授 黒瀬 雅之
一般目標	全身の排泄・感覚・消化の仕組みを習得するとともに、歯科衛生士の専門業務に直結する口腔の五大機能（感覚・分泌・咀嚼・嚥下・構音）の生理学的メカニズムを深く理解する。これにより、口腔の健康維持が全身の健康増進に果たす役割を科学的に説明できる能力を養う。
成績評価	筆記試験(100%)の成績により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	28	月	4	黒瀬	尿生成と排泄の仕組み (一. I-8、II-10-A,B)	<ul style="list-style-type: none"> 糸球体での濾過を説明できる 尿細管での再吸収を説明できる 尿による体液調節を説明できる 腎臓の排泄の役割を説明できる
2	10	5	月	4	黒瀬	感覚の受容と皮膚の感覚 (一. I-6-A,B、II-8-A,B,C)	<ul style="list-style-type: none"> 感覚受容の原理を説明できる 閾値と順応の概念を説明できる 皮膚受容器の分類を説明できる 痛みの伝達と抑制を説明できる
3	10	19	月	4	黒瀬	味覚と特殊感覚の生理 (一. I-6-A,B、II-8-A,B,C)	<ul style="list-style-type: none"> 味覚受容の仕組みを説明できる 味蕾の構造と路を説明できる 視覚や聴覚の基礎を説明できる 味覚と唾液の関連を説明できる
4	10	26	月	4	黒瀬	食物の消化と栄養の吸収 (一. I-7-A、II-9-A,B,C,D,E)	<ul style="list-style-type: none"> 消化管の運動調節を説明できる 各消化液の役割を説明できる 栄養素の吸収過程を説明できる 肝臓や膵臓の機能を説明できる
5	11	2	月	4	黒瀬	口腔の感覚と唾液 (二. II-1-A,D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯根膜感覚の特性を説明できる 唾液の生理機能を説明できる 唾液の分泌調節を説明できる 唾液の自律神経系を説明できる
6	11	9	月	3	黒瀬	噛む動きと顎の反射 (二. II-1-E)	<ul style="list-style-type: none"> 咀嚼のリズム生成を説明できる 咀嚼周期の各相を説明できる 顎反射の種類と路を説明できる 咀嚼の脳への影響を説明できる
7	11	16	月	4	黒瀬	嚥下のプロセスと生体防御 (二. II-1-E,F)	<ul style="list-style-type: none"> 嚥下運動の5期を説明できる 気道閉鎖の機序を説明できる 誤嚥防止の仕組みを説明できる 嘔吐反射の仕組みを説明できる
8	11	30	月	4	黒瀬	声の発生と言葉の仕組み (二. II-1-G)	<ul style="list-style-type: none"> 発声と構音の差を説明できる 言語生成の器官を説明できる 歯列と構音の関係を説明できる 軟口蓋の役割を説明できる
演習	12	7	月	4	黒瀬	演習	<ul style="list-style-type: none"> 全身と口腔の連携を説明できる 衛生士の必要知識を説明できる 1年間の学習内容を説明できる
	1	12	火	4	定期試験		

第1学年 病理学・口腔病理学

時間数	16時間（2時間×8回）
責任者・コーディネーター	病理学講座 病態解析学分野 講師 佐藤 泰生
担当教員	病理学講座 病態解析学分野 講師 佐藤 泰生
一般目標	病理学は疾病の原因、発生機序などを究明する学問であり、基礎医学と臨床医学に密に関連している分野である。ここでは、歯科衛生士として必要となる病理学の基礎、疾病の理論、口腔病変の概要についての知識を習得する。
成績評価	筆記試験(100%)の成績で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 「疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」（医歯薬出版） 「臨床検査」（医歯薬出版）
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	
1	6	2	火	2	佐藤	病理学序論と病因論 (三. I-1-A・B) 循環障害 (三. I-4-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 病理学的知識の必要性を理解する。 循環障害の状態と原因、歯科臨床との関わりについて説明できる。
2	6	9	火	2	佐藤	遺伝性疾患と奇形 (三. I-2-A・B) 口腔領域の奇形 (三. I-2-B) 歯の発育異常 (三. I-9-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝の基本概念と遺伝性疾患および奇形について説明できる。 口腔領域の奇形について説明できる。 歯の種々の異常について説明できる。
3	6	16	火	2	佐藤	代謝障害と退行性病変 (三. I-3-A~D) 歯の損傷と着色・付着物 (三. I-10-A・B) う蝕 (三. I-11-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 物質の代謝障害によって起こる退行性病変の概要について説明できる。 歯の損傷と着色・付着物の種類とそれらの成り立ちについて説明できる。 う蝕の病因、分類、部位や進行度について説明できる。
4	6	23	火	2	佐藤	増殖と修復 (三. I-5-A~E) 口腔粘膜の病変 (三. I-17-A~E) 口腔領域の嚢胞 (三. I-18-B)	<ul style="list-style-type: none"> 細胞、組織の機能亢進によって起こる病変について説明できる。 局所性粘膜病変と全身性疾患に伴う粘膜病変について説明できる。 口腔領域に発生する嚢胞の成り立ちについて説明できる。
5	6	30	火	2	佐藤	炎症と免疫応答異常 (三. I-6-A~D, -7-A~D) 象牙質・歯髄複合体の病態 (三. I-13-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 炎症の定義、5大徴候、経過および各型について説明できる。 歯髄炎の病因、病態および分類について説明できる。
6	7	7	火	2	佐藤	腫瘍 (三. I-8-A~D) 口腔領域の腫瘍 (三. I-18-C) 口腔癌 (三. I-18-C)	<ul style="list-style-type: none"> 腫瘍の定義、原因や形態について説明できる。 口腔領域に発生する腫瘍の臨床所見、組織所見について説明できる。 口腔癌の臨床所見、組織所見について説明できる。
7	7	14	火	2	佐藤	歯周組織の病態 (三. I-14-A, -15-A・B) 顎骨の病変 (三. I-18-A) 唾液腺の病変 (三. I-19-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> 根尖と辺縁部歯周組織の病変の病因、病態について説明できる。 顎骨病変の種類と概要を説明できる。 唾液腺病変の種類と概要を説明できる。
8	7	21	火	2	佐藤	口腔組織の加齢変化 (一. II-14-A・B, 二. I-3-D) 病理検査 (六. I-2-L, 六. I-4-C-h)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔領域、とくに歯周組織と歯の加齢変化について説明できる。 病理検体の採取方法と取扱いについて説明できる。
	8	24	月	2	定期試験		

第1学年 微生物学・口腔微生物学

時間数	30時間（2時間×11回(講義) 4時間×2(実習)）
責任者・コーディネーター	微生物学講座 分子微生物学分野 助教 三浦 利貴
担当教員	微生物学講座 分子微生物学分野 教授 石河 太知 微生物学講座 分子微生物学分野 助教 三浦 利貴 微生物学講座 分子微生物学分野 非常勤講師 佐々木 実
一般目標	微生物は自然界に広く生息しており、その種類はウイルスから原虫まで多岐にわたる。ヒトは微生物との相互作用なくしては生存し得ない。しかし反面、ごく限られた微生物のみがヒトに対して病原性を発揮する。本講義ではまず、歯科衛生上重要となる口腔微生物学について、齶蝕と歯周病の病因論を中心に学修し、つづいて歯科に関連する全身感染症、宿主側の感染防御機構たる免疫学について学修する。
成績評価	中間試験(20%)と定期試験(80%)の成績より評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 第2版」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	9	木	4	三浦	微生物学の概要 感染 1) 感染の成立 2) 感染の種類 (三. II-3-C~E)	<ul style="list-style-type: none"> 微生物の種類と分類を説明できる。 感染の定義と成立要件を理解できる。 感染の種類を説明できる。
2	4	16	木	4	三浦	微生物学総論 1) 細菌 2) ウイルス 3) 真菌 微生物の培養、観察と検査 1) 培養法 2) 細菌の顕微鏡観察法 3) 微生物の検査方法 (三. II-1, 2, 3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 細菌の形態、構造、病原因子について説明できる。 ウイルスの形態、構造について説明できる。 真菌の形態、構造について説明できる。 微生物の培養法、観察法および検査法について説明できる。
3	4	23	木	4	三浦	化学療法 1) 化学療法薬 滅菌と消毒 1) 定義 2) 滅菌法 3) 消毒法 4) 標準予防策 (三. II-5, 9)	<ul style="list-style-type: none"> 化学療法の目的、副反応を説明できる。 化学療法の種類と作用機序を説明できる。 薬剤耐性の機序を説明できる。 滅菌、消毒の意義と原理を説明できる。 滅菌法と消毒法の種類と作用機序を説明できる。 院内感染の原因と予防法を説明できる。
4	4	30	木	4	三浦	口腔環境と常在微生物 1) 微生物と口腔環境 2) 口腔常在微生物 バイオフィームとしてのプラーク 1) 形成機序と性質 2) バイオフィームと感染症 (三. II-7)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔環境の特殊性について説明できる。 唾液の役割について説明できる。 口腔常在微生物叢について説明できる。 プラークの形成とその微生物叢を説明できる。 バイオフィーム感染症を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
5	5	14	木	4	三浦	う蝕の細菌学 1)う蝕の発生機序 2)う蝕原性細菌と病原因子 3)病因論に基づくう蝕予防 (三. II-10)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の発生機序について説明できる。 う蝕原性細菌と病原因子について説明できる。
6	5	21	木	4	三浦	歯周病の細菌学 1)歯周病の分類と疫学 2)歯周病原細菌と病原因子 3)歯周組織の破壊機序 4)病因論に基づく歯周病予防 その他の口腔感染症 1)カンジダ症 2)誤嚥性肺炎 3)感染性心内膜炎 4)インプラント周囲炎 (三. II-8-B、11)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周病の分類と疫学について説明できる。 歯周病原細菌とその病原因子について説明できる。 歯周組織が破壊される機序について説明できる。 微生物が原因で口腔に症状を現す疾患を説明できる。 口腔微生物が原因で全身に症状を現す疾患を説明できる。
7	5	28	木	4	三浦	中間試験	
8	6	4	木	4	三浦	主な病原細菌 1)グラム陽性球菌、桿菌 2)グラム陰性球菌、桿菌 3)マイコプラズマ 4)リケッチア 5)クラミジア (三. II-6-A~H)	<ul style="list-style-type: none"> 主な病原細菌の性状と病原因子、感染機構を説明できる。 主な病原細菌感染症の病態および予防・治療法を説明できる。
9	6	11	木	4	三浦	歯科に関連するウイルス 1)DNAウイルス 2)RNAウイルス 歯科に関連する真菌 口腔領域の原虫 プリオン (三. II-6-I~L)	<ul style="list-style-type: none"> DNAウイルスとRNAウイルスを説明できる。 歯科に関連するウイルスの種類と特徴を説明できる。 歯科に関連する真菌の性状と感染機構、感染症について説明できる。 歯科に関連する原虫の特徴、感染症について説明できる。 歯科に関連するプリオンの特徴、感染予防について説明できる。
10	6	25	木	4	三浦	免疫 1)免疫の種類 2)生体のバリア機構 3)自然免疫 4)抗原提示 5)獲得免疫 6)能動免疫と受動免疫 7)粘膜免疫 (三. II-4-A-a~d,h、B、E)	<ul style="list-style-type: none"> 免疫の定義と免疫関連組織、細胞を説明できる。 生体のバリア機構を説明できる。 自然免疫の仕組みを説明できる。 抗原提示の仕組みを説明できる。 獲得免疫の仕組みを説明できる。 能動免疫と受動免疫の仕組みを説明できる。 粘膜免疫の仕組みを説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
11	7	2	木	4	三浦	アレルギー 1) I型アレルギー 2) II型アレルギー 3) III型アレルギー 4) IV型アレルギー 免疫に関連する疾患 1) 自己免疫疾患と免疫寛容 2) 免疫不全 3) 移植免疫 (三. II-4-A-e~g, C, D)	<ul style="list-style-type: none"> アレルギーの定義および自己免疫疾患との違いについて説明できる。 アレルギーの類型について説明できる。 免疫寛容と自己免疫疾患について説明できる。 先天性免疫不全と後天性免疫不全について説明できる。 臓器移植の拒絶反応について説明できる。
12 { 15	7	15	水	3 ・ 4	石河 三浦 佐々木	実習 1) 滅菌と消毒 2) 培地の作製 3) 細菌の培養法 4) 手指の細菌と手洗い効果の比較 5) グラム染色法 6) 集落の観察 7) 口腔細菌の顕微鏡的観察 (矢巾キャンパス西3C)	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌法や消毒法の手技を習得する。 微生物の培養法の手技を習得する。 手指常在微生物を観察し、手指消毒の手技と重要性を習得する。 細菌染色法を習得する。 顕微鏡法による細菌の観察方法を習得する。
	7	17	金	3 ・ 4			
	8	26	水	3	定期試験		

第1学年 生化学・口腔生化学

時間数	20時間 (2時間×10回)
責任者・コーディネーター	生化学講座 細胞情報科学分野 講師 横田 聖司
担当教員	生化学講座 細胞情報科学分野 講師 横田 聖司
一般目標	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する物質の構造、機能、代謝の基礎的原理を理解する。 ・口腔領域に関する物質の構造と機能を生化学的に理解する。 ・臨床科目の生化学的側面を十分理解できるレベルを到達目標とする。
成績評価	筆記試験(演習試験含む)の成績(100%)で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能2 生化学・口腔生化学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	14	火	4	横田	細胞と遺伝子 1) 細胞小器官 2) 遺伝子 3) セントラルドグマ (一. II-1-C、2-A・B 11-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・生体を構成する物質について理解する。 ・細胞小器官の構造と役割を理解する。 ・遺伝情報の流れを理解する。
2	4	28	火	4	横田	糖質の代謝 1) 糖質 2) 解糖と糖新生 3) クエン酸回路 4) 電子伝達系 5) グリコーゲン代謝と血糖調節 (一. II-1-C、2-E)	<ul style="list-style-type: none"> ・糖代謝の過程を理解する。 ・解糖と糖新生の役割を説明できる。 ・酸化的リン酸化を説明できる。 ・ATP生成について理解する。 ・血糖調節ホルモンを列挙し、その役割を説明できる。
3	5	12	火	4	横田	脂質とアミノ酸の代謝 1) 脂質の分類 2) 脂質の分解とATP生成 3) アミノ酸とタンパク質 4) アミノ酸の分解とATP生成 5) 尿素サイクル (一. II-1-C、2-E)	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質の構造と種類を説明できる。 ・脂質の分解からATP生成までを理解する。 ・タンパク質の構造とアミノ酸の種類を説明できる。 ・アミノ酸の分解からATP生成までを理解する。
4	5	19	火	4	横田	演習講義① 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
5	5	26	火	4	横田	結合組織 1) コラーゲンとエラスチン 2) プロテオグリカン 3) 接着タンパク 4) 細胞外マトリックス成分の分解 (一. II-1-C、2-B・E、 二. II-2-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・コラーゲンの構造、アミノ酸組成、種類と局在を説明できる。 ・コラーゲンの合成、分解の過程を理解する。 ・エラスチンについて説明できる。 ・プロテオグリカンについて説明できる。 ・歯周組織を上皮、軟・硬組織に区分し、その組成を理解する。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6	6	2	火	4	横田	歯と骨の構成成分 1) 歯の無機成分 2) 歯の有機成分 3) 歯と骨の石灰化の特徴 4) カルシウムとリン酸代謝の調節機構 (二. II-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒドロキシアパタイトについて理解する。 ・エナメル質、象牙質、セメント質の有機成分について説明できる。 ・石灰化の仕組みと特徴を理解する。 ・副甲状腺ホルモン、カルシトニン、ビタミンDによるカルシウム・リン酸代謝の調節機構を説明できる。 ・歯の脱灰と再石灰化を理解する。
7	6	9	火	4	横田	演習講義② 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
8	6	16	火	4	横田	唾液と歯の堆積物 1) 唾液の成分と作用 2) ペリクルの組成 3) プラークの組成と形成過程 4) 歯石の形成過程 (二. II-1-C、 四. I-4-A、5-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・唾液の無機成分、有機成分について理解する。 ・各唾液成分の機能と作用を説明できる。 ・ペリクル・プラークの組成と形成機構を理解する。 ・プラークの組成と形成機構を理解する。 ・歯石の組成と形成機構と性質を理解する。 ・菌体外多糖の生成過程を説明できる。
9	6	23	火	4	横田	歯周疾患の免疫 1) 口腔疾患と自然免疫系 2) 口腔疾患と獲得免疫系 (三. II-4-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然免疫系に関与する細胞成分と局所に炎症をもたらす化学メディエーターについて理解する。 ・慢性炎症時に獲得免疫系に関与する細胞成分と、これらの細胞が分泌する免疫グロブリンやサイトカインについて理解する。 ・歯周疾患への免疫反応の関与について理解する。
10	6	30	火	4	横田	演習講義③ 1) 知識の定着 2) 問題解決能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・講義で理解できなかった項目を列挙する。 ・学習方法を説明できる。 ・理解した項目を身に付ける。
	8	27	木	3	定期試験		

第1学年 口腔衛生学

時間数	36時間（2時間×18回）
責任者・コーディネーター	教務主任 鈴木 奈津子
担当教員	教務主任 鈴木 奈津子 教員 金子 由美子 教員 鳥畑 美香
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科医療には歯科疾患の治療を行うだけでなく、健康増進と疾患予防を支援し、国民の健康に寄与することが求められる。この国民の負託に応えることができる歯科衛生士となるために必要な知識を習得し、態度・技能を身につける。
成績評価	筆記試験の成績(100%)により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	5	12	火	2	鈴木	総論 (四. I-1-A・B III・IV-2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 保健生態学と口腔衛生学の定義を説明できる。 健康の概念と国民の権利について説明できる。 プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションの概要を説明できる。 予防医学の概念を説明できる。 第一次、二次、三次予防の適用を説明できる。
2	5	13	水	3	鈴木	歯・口腔の構造 (二. I-1-B・C・F、 2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 次の口腔の構造と機能を説明できる(歯・歯周組織・口腔粘膜・舌・顎関節・唾液腺)。
3	6	1	月	3	鈴木	口腔の発生と成長発育 口腔の健康と全身の健康 (四. I-2-A・B、 3-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・口腔の形成過程を説明できる。 歯の萌出と交換を説明できる。 口腔と全身の健康との関係を説明できる。
4	6	9	火	1	金子	口腔環境 (四. I-4-、5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 唾液の種類および唾液の働きを説明できる。 歯・口腔の付着物・沈着物を説明できる。
5	6	16	火	3	金子	口腔清掃1 (四. II-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔清掃の意義を説明できる。 口腔清掃法の種類を説明できる。
6	6	26	金	2	金子	口腔清掃2 (四. II-2-A~C、 5-A~C、八.1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 人工的清掃法の分類と用具の特徴を説明できる。
7	6	29	月	1	金子	口腔清掃3 (四. II-5-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> プラークの染め出しの意義を説明できる。 歯垢染色剤の種類・特徴を説明できる。 不適切な口腔清掃による為害作用とその予防法を説明できる。
8	7	16	木	3	金子	口腔清掃4 (四. II-4-A・B、 八. III-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨剤および洗口液・洗口剤の種類を説明できる。 歯磨剤および洗口液・洗口剤の組成を説明できる。
9	7	24	金	2	鳥畑	う蝕予防の基礎 (四. I-1-B、4-A III-1-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の発生要因を説明できる。 う蝕の発生機序を説明できる。 初期う蝕の再石灰化を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
10	8	20	木	1	鳥畑	う蝕の第一次予防 (四. I-1-B、 III-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕病変の進行と症状を説明できる。 う蝕の第一次予防の手段を説明できる。
11	9	16	水	1	鳥畑	う蝕の第二次・第三次予防 (四. I-1-B、 III-2-B~D)	<ul style="list-style-type: none"> う蝕の第二次・第三次予防の手段を説明できる。
12	9	29	火	3	鳥畑	歯とフッ化物 (四. I-1-B、 III-3-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物の自然界の分布を説明できる。 フッ化物の摂取と代謝を説明できる。 フッ化物の毒性を説明できる。 地域歯のフッ素症指数(CFI)を算出できる。 フッ化物のう蝕予防メカニズムを説明できる。
13	10	7	水	1	鳥畑	歯とフッ化物 (四. I-1-B、 III-3-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> フッ化物応用の全身応用と局所応用を列挙できる。 各フッ化物応用法の特徴と使用するフッ化物製剤のフッ化物濃度を説明できる。
14	11	9	月	4	鈴木	歯周疾患予防の基礎 (四. IV-1-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の炎症の広がりと症状を説明できる。 歯周疾患の種類と原因を説明できる。 歯周疾患のリスクファクターを列挙できる。 歯周疾患の全身に与える影響を説明できる。
15	11	10	火	3	鈴木	歯周疾患の第一次予防 (四. IV-2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の予防法を列挙できる。
16	11	25	水	1	鈴木	歯周疾患の第二次・第三次予防 (四. IV-2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周疾患の予防と治療における処置を説明できる。 定期的予防処置の必要性を説明できる。
17	11	25	水	3	鈴木	その他の疾患・異常の予防1 (四. V-1・2-A~C、 3-A・D~F)	<ul style="list-style-type: none"> 不正咬合を起こす原因を列挙し、予防可能な要因について説明できる。 口臭の分類と検査法を説明できる。 口臭を起こす要因を列挙し、予防について説明できる。 口腔乾燥症の要因と予防について説明できる。
18	12	10	木	3	鈴木	その他の疾患・異常の予防2 (四. V-3-A~H)	<ul style="list-style-type: none"> 歯の咬耗、摩耗、アブフラクション、酸蝕の違いを理解し、それぞれの予防法を説明できる。 顎関節症、口腔がんの実態と予防法を説明できる。 外来性色素による着色歯の原因と予防法を説明できる。 口腔機能低下症の概念を理解し、予防法について説明できる。 口内炎の分類、要因と予防法を説明できる。
	1	19	火	4	定期試験		

第1学年 栄養学

時間数	30時間（2時間×15回）
責任者・コーディネーター	教務主任 鈴木 奈津子
担当教員	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	健康的な生活に必要な栄養・食生活を理解するために、栄養と食生活に関する基本的知識を習得する。
成績評価	中間試験(50%)定期試験(50%)で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能3 栄養学」(医歯薬出版) オールガイド五訂増補食品成分表2026(実教出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	5	1	金	1	鈴木	栄養学と歯科衛生士 1) 栄養の概念 2) 栄養と食生活の意義 (八. V-1-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 食生活と健康との関連を概説できる。 現代人の食物の摂取における栄養上の問題点を列挙できる。
2	6	3	水	1	鈴木	栄養素の働き① 1) 糖質の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 糖質の生体での役割を概説できる。 糖質の摂取と健康との関連を説明できる。
3	6	22	月	1	鈴木	栄養素の働き② 1) 脂質の栄養的意味 2) たんぱく質の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> タンパク質、脂質の生体での役割を概説できる。 タンパク質、脂質の摂取と健康との関連を説明できる。
4	7	2	木	3	鈴木	栄養素の働き③ 1) ビタミンの栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ビタミンの種類と働きを概説できる。 ビタミンの摂取と健康との関連を説明できる。
5	7	22	水	2	鈴木	栄養素の働き④ 1) ミネラルの栄養的意味 2) 水の栄養的意味 3) 食物繊維の栄養的意味 (八. V-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ミネラルの種類と働きを概説できる。 水の生体での役割を概説できる。 食物繊維の生体での役割を概説できる。 水、食物繊維の摂取と健康との関連を説明できる。
6	8	17	月	3	鈴木	栄養素の消化と吸収① 1) 消化の過程 2) 吸収のメカニズム (一. II-9-B~E)	<ul style="list-style-type: none"> 消化吸収の意義を説明できる。 消化の過程を説明できる。 吸収のメカニズムを説明できる。
7	9	7	月	3	鈴木	栄養素の消化と吸収② 1) 栄養素の体内動態 2) 栄養素別の消化吸収 (一. II-9-B~E)	<ul style="list-style-type: none"> 栄養素別の消化吸収を説明できる。
8	9	15	火	3	鈴木	中間試験	
9	10	1	木	1	鈴木	健康と栄養① 1) 食生活指針 2) 食事摂取基準 (八. V-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> 食事摂取基準を説明できる。 エネルギー必要量を説明できる。 脂肪エネルギー比率を説明できる。 基礎代謝を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
10	11	5	木	3	鈴木	健康と栄養② (八. V-1-C)	・食品の安全性確保のための施策について説明できる。
11	11	11	水	1	鈴木	食事と食品① 1) 食事バランスガイド (八. V-3-A)	・食事バランスガイドについて説明できる。 ・食事バランスガイドを使って各自の食生活を評価できる。
12	11	16	月	1	鈴木	食事と食品② 2) 食品群の分類と特徴 (八. V-3-A)	・食品群の分類と特徴を説明できる。
13	12	2	水	2	鈴木	食事と食品② 3) 食品の機能 4) 食品の表示 (八. V-1-C・D)	・食品の3つの機能について説明できる。 ・食品の表示と保健機能食品、特別用途食品について説明できる。
14	12	8	火	3	鈴木	食事と食品③ 5) 食品の調理 6) 食品の物性と活用 (八. V-1-B)	・摂食嚥下機能と食品の物性について説明できる。
15	12	14	月	1	鈴木	食品のう蝕誘発性 (八. V-1-D)	・甘味食品の種類と特徴を説明できる。 ・う蝕と甘味食品の関連について説明できる。
	1	18	月	4	定期試験		

第1学年 歯科衛生士概論

時間数	16時間（2時間×8回）
責任者・コーディネーター	教務主任 鈴木 奈津子
担当教員	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科医療職のチームの一員として、専門性・質の高い保健医療サービスの提供ができる歯科衛生士となるために、歯科衛生士の心構え・役割・期待される将来像について理解する。また、「歯科衛生士」という職種について、その成り立ちと歴史、法的な位置づけについて理解する。
成績評価	定期試験(100%)で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学概論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	8	水	1	鈴木	歯科衛生士とは 歯科衛生の歴史と現況 (五. I - 1 - A ~ C)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士の定義を述べるができる。 ・歯科衛生士誕生までの経緯と歯科衛生の歴史について概説できる。
2	5	29	金	3	鈴木	歯科衛生と健康 (五. I - 1 - A)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生と健康の関係を概説できる。 ・健康と予防の定義を説明できる。
3	6	9	火	3	鈴木	歯科衛生士法と歯科衛生業務 (五. I - 1 - D, 2 - A ~ C)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士を取り巻く法律についてポイントを説明できる。 ・歯科衛生業務の構成要素を説明できる。
4	6	23	火	3	鈴木	歯科衛生士と医療倫理 (五. I - 4 - A ~ C)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のニーズに応えることのできる歯科衛生士像と、専門職としての自覚について説明できる。 ・インフォームド・コンセントにおける患者と保健医療者双方の権利と義務を説明できる。
5	6	26	金	1	鈴木	歯科衛生活動のための理論 (五. I - 3 - A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生の実践は論理的でなければならない理由を述べるができる。 ・ICF、EBM、批判的思考を説明できる。 ・保健行動の理論を説明できる。 ・歯科衛生過程を説明できる。
6	7	1	水	2	鈴木	保健・医療・福祉の制度と多職種連携 (五. I - 6 - C)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療保険制度、介護保険制度の仕組みを理解できる。 ・地域包括ケアシステムについて説明できる。 ・多職種連携に関わる職種を列挙できる。
7	7	7	火	1	鈴木	災害時における歯科衛生活動 (五. I - 6 - B)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害関連死を説明できる。 ・災害時の歯科衛生士の役割を説明できる。
8	7	22	水	3	鈴木	歯科衛生士の国際化組織活動 歯科衛生士のキャリア形成 (五. I - 6 - A)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際活動の意義について説明できる。 ・職能団体の活動内容や意義を説明できる。 ・キャリア形成の必要性を説明できる。
	8	28	金	2	定期試験		

第1学年 健康社会学

時間数	16時間 (2時間×8回)
責任者・コーディネーター	教員 金子 由美子
担当教員	教員 金子 由美子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	人々を健康に導く保健医療従事者となるために、健康概念の変遷と現代の健康観を学び、社会の関わりの中で生涯を通じた健康課題を思考する能力を身につける。
成績評価	筆答(100%)により評価する。
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	10	木	1	金子	健康の概念 (四.VI-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 健康の概念を説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
2	10	7	水	3	金子	予防医学の概念 (四.VI-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 予防医学の概念を説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
3	10	15	木	1	金子	ヘルスプロモーション (四.VI-1-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスプロモーションの概念を説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
4	10	26	月	3	金子	健康づくり対策・1 (四.VI-1-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり対策について説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
5	11	4	水	3	金子	健康づくり対策・2 (四.VI-1-A～D)	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり対策について説明できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
6	11	16	月	3	金子	情報化社会における健康情報① 1)情報の選択と活用	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた選択と必要性の判断ができる。 科学的根拠や有効な活用方法を検証できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
7	11	30	月	1	金子	情報化社会における健康情報② 1)情報の選択と活用	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた選択と必要性の判断ができる。 科学的根拠や有効な活用方法を検証できる。 グループワークで得られた意見を統合して発表できる。
8	12	7	月	1	金子	健康社会学のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> 講義で理解できなかった項目を列挙する。 理解した項目を身につける。
	1	20	水	4	定期試験		

第1学年 歯科臨床概論

時間数	30時間（2時間×15回）
責任者・コーディネーター	教務主任 鈴木 奈津子
担当教員	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	保存、補綴、矯正歯科、小児歯科および口腔外科治療の基本的な流れを中心に、それぞれの治療対象、治療目的および治療における歯科衛生士の役割等から、歯科診療の概要を理解する。
成績評価	定期試験(100%)の成績により評価する。
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	13	月	3	鈴木	歯科診療と歯科診療所 1) 歯科医療とは 2) 歯科診療所とその規模 3) 歯科診療所における業務 (九. I-1-A~C, 3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科診療所で働くスタッフについて説明できる。 歯科診療所の業務について概説できる。
2	4	28	火	3	鈴木	ライフステージと歯科診療 主な診療の流れ① 1) 診査・検査・前処置 (九. I-1-A~C, 3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ライフステージと歯科診療の関わりを理解できる。 歯科診療における審査・検査・前処置について理解することができる。
3	6	3	水	3	鈴木	主な診療の流れ② 1) 小児歯科 (六. VI-4-A~J)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科の特徴を概説できる。 小児に対する治療時の対応法を列挙できる。 小児歯科治療の内容を列挙できる。
4	6	4	木	2	鈴木	主な診療の流れ③ 1) 矯正歯科 (六. V-2-C・D, 3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 矯正歯科治療の特徴を概説できる。 不正咬合の種類を列挙できる。 矯正歯科治療の内容を列挙できる。
5	6	8	月	3	鈴木	主な診療の流れ④-1 1) 口腔外科 (六. IV-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔外科治療の内容を概説できる。 外傷の種類と治療法を列挙できる。 口腔粘膜疾患の種類を列挙できる。
6	6	16	火	1	鈴木	主な診療の流れ④-2 1) 口腔外科 (六. IV-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> 普通抜歯、難抜歯の術式と使用する器具を説明できる。 口腔領域の悪性腫瘍の誘因を概説できる。
7	6	25	木	2	鈴木	主な診療の流れ⑤-1 1) 歯科保存 (六. II-1-A~G)	<ul style="list-style-type: none"> 保存修復学が対象とする硬組織疾患を列挙できる。 直接修復と間接修復の違いを説明できる。
8	6	30	火	3	鈴木	主な診療の流れ⑤-2 1) 歯科保存 (六. II-2-A~K)	<ul style="list-style-type: none"> 歯内療法学とは何か概説できる。 歯髄保存療法と歯髄除去療法の種類を列挙できる。 ホワイトニングの種類を列挙できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	7	10	金	3	鈴木	主な診療の流れ⑥-1 1) 歯周治療 (六. II-3-A~L)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病の原因因子を列挙できる。 ・歯周治療の流れを説明できる。 ・歯周病と全身疾患の関係を説明できる。
10	7	14	火	1	鈴木	主な診療の流れ⑥-2 1) 歯周治療 (六. II-3-A~L)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周外科治療の内容を概説できる。 ・メンテナンスとSPTの違いを説明できる。
11	7	21	火	1	鈴木	主な診療の流れ⑦-1 1) 歯科補綴 (六. III-1-B、2-A~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウン作製の手順を説明できる。 ・CAD/CAMシステムについて概説できる。 ・インプラントの基本構造を説明できる。
12	7	24	金	1	鈴木	主な診療の流れ⑦-2 1) 歯科補綴 (六. III-1-B、3-A・B、 4-A~C、5-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・有床義歯作製の手順を説明できる。 ・有床義歯の分類法を説明できる。
13	8	17	月	1	鈴木	主な診療の流れ⑧ 1) 障がい者歯科 (六. VIII-2-A~G、2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションとバリアフリーの概念を説明できる。 ・各種障害の種類と特徴を列挙できる。
14	8	19	水	3	鈴木	主な診療の流れ⑨ 1) 高齢者歯科 (六. VII-3-A~E、4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴を概説できる。 ・高齢者に特有の口腔疾患を説明できる。
15	8	20	木	3	鈴木	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめプリントの確認ができる。 ・グループでの学習法を理解できる。 ・定期試験への取り組み方を理解できる。
	8	31	月	4	定期試験		

第1学年 う蝕治療学 I (保存修復学)

時間数	20時間 (2時間×10回)
責任者・コーディネーター	歯科保存学講座 う蝕治療学分野 助教 東 兼司
担当教員	歯科保存学講座 う蝕治療学分野 教授 野田 守 歯科保存学講座 う蝕治療学分野 助教 東 兼司
実務経験	歯科医師
一般目標	保存修復学の概要について学び、齶蝕治療とその修復法の種類、各修復法の特徴、術式、使用器材などに関する知識を習得する。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。定期試験100%
教科書	歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ・ 2	10	16	金	1 ・ 2	野田	歯の保存療法の種類 1) 歯の保存療法と歯科保存学 2) 対象となる疾患 口腔診査 1 1) 基礎知識と前準備 2) 医療面接 3) 現症の診査 (六. I-1-A、2-A・B、II-1-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> 保存療法の対象となる疾患について学び、口腔内の検査に使われる歯式、歯面の表示法について説明できる。 保存療法の対象となる疾患の検査法について、種類と目的について説明できる。
3 ・ 4	10	23	金	1 ・ 2	東	保存修復学の意味と概要 1 1) 保存修復の適応症と禁忌症 2) 齶蝕症 3) 窩洞の分類と名称 4) 処置ステップの流れと概要 ①前準備処置 ②切削・形成法 (六. II-1-A・B・C・E)	<ul style="list-style-type: none"> 保存修復学の概要について学び、齶蝕の分類と名称、好発部位、窩洞の分類について説明できる。 保存修復学の処置の概要を学び、防湿法、歯間分離法などの術式や切削器具について説明できる。
5 ・ 6	10	30	金	1 ・ 2	東	コンポジットレジン修復 1) 特徴 2) 適応症 3) 手順 セメント修復 1) セメント修復の種類と用途 2) グラスイオンセメント修復 3) 合着、裏装用セメント (六. II-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットレジン修復の概要について学び、その種類、操作上の注意点、術式、使用器材について説明できる。 セメント修復の概要について学び、その種類、操作上の注意点、術式、使用器材について説明できる。
7 ・ 8	11	6	金	1 ・ 2	東	鑄造修復 1) 鑄造修復とは 2) 適応症と禁忌症 3) 手順 審美的修復法 1) ポーセレンインレー 2) レジンインレー 3) ベニア修復・補修修復 (六. II-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> 鑄造修復の概要について学び、適応症、禁忌症、術式について説明できる。 審美的修復法の適応症と禁忌症を説明できる。
9 ・ 10	11	13	金	1 ・ 2	野田	まとめ 修復物の維持管理 (六. II-1-G)	<ul style="list-style-type: none"> 修復物を口腔内で機能させるための歯科衛生士の役割を説明できる。
	1	8	金	2	定期試験		

第1学年 う蝕治療学Ⅱ(歯内療法学)

時間数	20時間 (2時間×10時間)
責任者・コーディネーター	歯科保存学講座 う蝕治療学分野 教授 野田 守
担当教員	歯科保存学講座 う蝕治療学分野 教授 野田 守 歯科保存学講座 う蝕治療学分野 助教 東 兼司
実務経験	歯科医師
一般目標	歯内療法関係疾患の概要と術式、使用器材、薬剤、および材料に関する知識を習得する。また、患者の症状や不快感などの訴えを理解し、その対応法について学ぶ。
成績評価	筆記試験の成績で評価する。定期試験100%
教科書	歯科衛生学シリーズ「保存修復学・歯内療法学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 ・ 2	11	20	金	1 ・ 2	野田	歯内療法学の概要 1) 歯内療法学とは 2) 歯の痛み 3) 歯髄・根尖歯周組織疾患 歯科衛生士と歯内療法 1) 患者の症状に対する理解 2) 処置内容に対する理解 3) 治療後の患者管理 (六.Ⅱ-2-A~C)	・歯内療法学の概要について理解する。また、象牙質・歯髄・歯周組織のそれぞれに由来する歯の痛みについて説明できる。 ・患者の訴えや、処置内容と処置後の経過について理解し、それらに対して、歯科衛生士としてどう対応するかを説明できる。
3 ・ 4	11	27	金	1 ・ 2	野田	歯髄の保存療法 1) 歯髄鎮静療法 2) 歯髄覆罩(覆髄) 歯髄の除去療法 1) 歯髄切断法(断髄法) 2) 抜髄 (六.Ⅱ-2-E・F)	・歯髄保存療法の種類とその目的、処置法について説明できる。 ・保存不可能な歯髄の処置法、術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。
5 ・ 6	12	4	金	1 ・ 2	野田	根管治療 1) 根管治療(感染根管治療)の基本概念 2) 根管治療の術式 根管充填 1) 根管充填 (六.Ⅱ-2-H・I)	・根管治療の概念について学び、その術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。 ・根管充填について学び、その術式、使用器材、薬品、材料について説明できる。
7 ・ 8	12	11	金	1 ・ 2	東	外科的歯内療法 1) 切開・排膿法 2) ヘミセクション 3) 歯根端切除 歯内療法における偶発症 1) 治療用器具の根管内破折 2) 根管治療時の根管の穿孔 3) 器具の誤飲(嚥下)・吸引 (六.Ⅱ-2-K・L・M)	・外科的歯内療法の種類と適応症、術式について説明できる。 ・根管治療時に起こり得る偶発症について学び、その対処法を説明できる。
9 ・ 10	12	18	金	1 ・ 2	野田	歯内療法に使用される薬剤・器材 1) 薬剤 2) 器材 まとめ	・歯内療法で使用される薬剤や器材の種類と使用上の注意について説明できる。
	1	12	火	2	定期試験		

第1学年 歯周療法学

時間数	20時間 (2時間×10回)
責任者・コーディネーター	歯科保存学講座 歯周療法学分野 助教 鈴木 啓太
担当教員	歯科保存学講座 歯周療法学分野 助教 鈴木 啓太 歯科保存学講座 歯周療法学分野 助教 相原 恵子 歯科保存学講座 歯周療法学分野 助教 及川 貴子
実務経験	歯科医師
一般目標	正常な歯周組織の構造および病的な変化について学び、歯周疾患の症状、歯周治療について理解する。歯周病の予防処置、保健指導を適切に行うための知識を身につける。
成績評価	筆記試験の成績(定期90%、中間10%)などで総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯周病学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	11	金	3	相原	歯周治療とは 1) 歯周疾患現状と治療 2) 歯科衛生業務と歯周治療 正常な歯周組織の構造と機能 1) 歯周組織の構造 2) 歯周組織の機能 (二. I-2-B、 六. II-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患の実態を理解し、歯周治療の概要を説明できる。 ・歯周疾患に関連する指標について説明できる。 ・歯周治療と歯科衛生士の役割について学ぶ。 ・正常な歯周組織の構造、機能、特徴について説明できる。
2	9	25	金	3	鈴木	歯周疾患 1) 歯周疾患の分類 2) 歯周疾患の原因 3) 歯周医学 (六. II-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患の分類、症状、原因について説明できる。 ・歯周病と全身疾患との関連について説明できる。
3	10	2	金	3	及川	歯周治療の進め方 1) 歯周疾患の予防と歯周治療の基本 2) 歯周治療の進め方 (六. II-3-E・F) 歯周疾患の診査 1) 歯周組織の診査 2) 咬合の診査 3) X線写真による診査	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周疾患の予防の意義と、歯周治療の原則が説明できる。 ・歯周治療の流れについて説明できる。 ・歯周組織の種々の診査方法、原因因子について説明できる。
4	10	16	金	3	相原	歯周基本治療 1) 歯周基本治療の目的と効果 2) 歯周基本治療の内容と実際 3) 薬物療法 (六. II-3-A・C~G)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病の薬物療法について説明できる。 ・歯周基本治療の目的と効果、内容と実際について説明できる。
5	10	23	金	3	鈴木	歯周外科治療 1) 歯周外科治療の目的と分類 2) 歯周外科治療後の治癒形態 3) 各種歯周外科治療に用いる器材 (六. II-3-H)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周外科における歯科衛生士の役割と歯周外科治療の目的と種類、術式、適応症、使用器材について説明できる。
6	10	30	金	3	相原	中間試験	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
7	11	13	金	3	鈴木	歯周治療としてのリハビリテーション 1)咬合調整 2)矯正治療 3)歯の固定法 4)インプラントによる治療 (六. II-3-F・J) 中間試験解説講義	<ul style="list-style-type: none"> 歯周治療におけるリハビリテーションの目的、種類を説明できる。
8	11	20	金	3	及川	歯周治療における歯科衛生士の役割 1 1)歯周治療の進め方 2)歯周組織検査・診断時の補助 3)リスクファクターなどに対する指導 (六. II-3-B・E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 歯周治療の各段階における歯科衛生士の役割を説明できる。 プラークコントロールとして、ブラッシングおよび補助的清掃用具の指導と食生活指導について説明できる。
9	11	27	金	3	鈴木	歯周治療における歯科衛生士の役割 2 1)スケーリング・ルートプレーニング 2)歯周外科治療 (六. II-3-F・H)	<ul style="list-style-type: none"> スケーリング・ルートプレーニングの目的、使用スケーラーの種類、構造、基本原則について説明できる。 歯周外科治療時の介助のポイントと使用器材を説明できる。
10	12	11	金	3	鈴木	歯周治療における歯科衛生士の役割 3 1)メンテナンス メンテナンスに移行する時期と内容 2)診療室器具・器材の管理 (六. II-3-L)	<ul style="list-style-type: none"> メンテナンスの重要性と意義、流れを説明できる。 メンテナンスの内容と時期および歯科衛生士の役割について説明できる。 歯周治療における感染リスクを理解し、適切な器具・器材の管理法を説明できる。 スケーラーのシャープニングの手順を説明できる。
	1	13	水	2	定期試験		

第1学年 歯科補綴学

時間数	30時間 (2時間×15回)
責任者・コーディネーター	歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野 助教 八戸 勇樹 歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 助教 伊藤 凌
担当教員	歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野 助教 八戸 勇樹 歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野 助教 佐々木 溪斗 歯科補綴学講座 冠橋義歯・口腔インプラント学分野 助教 星 美貴 歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 助教 伊藤 凌 歯科補綴学講座 有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 助教 金子 千洋
実務経験	歯科医師
一般目標	補綴治療に関わる顎機能、筋機能、咬合について学ぶ。また、補綴治療のステップ、使用器械、使用材料について理解し、適切な診療の補助を行う知識を身に付ける。
成績評価	筆記試験の成績(100%)で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科補綴学」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	10	木	2	星	歯科補綴治療とは 1) 歯科補綴治療の意義と目的 2) 補綴装置の種類と適応 3) 補綴治療における診療補助 (六. III-1-A・B)	・歯科補綴治療の概要を理解し、補綴装置の種類、診療補助の内容、患者指導について説明できる。
2	9	17	木	2	星	歯科補綴治療の基礎知識 1 1) 歯の欠損・喪失に伴う咬合・咀嚼 2) 顎関節症とその異常 3) 顎運動および咀嚼の機能 木 (六. III-1-A、九. IV-1-A)	・下顎の運動様式、咬合様式、顎関節の構造、機能、障害について理解できる。 ・咬合に関する検査と下顎運動、筋機能の検査について説明できる。
3	9	24	木	2	八戸	歯科補綴治療の基礎知識 2 1) 歯列の形態と位置的関係 2) 顎口腔の機能 3) 咬合とその関連事項 (六. III-1-A)	・補綴治療に関わる歯列、咬合、咀嚼、嚥下について理解することができる。
4	10	1	木	2	八戸	クラウン・ブリッジ 1 1) クラウン・ブリッジの概要 2) CAD/CAMクラウン・ブリッジの概要 3) CAD/CAMクラウン・ブリッジの概要 4) CAD/CAMクラウン・ブリッジの治療の流れ (六. III-1-B~E、4,5-A・B)	・クラウンの種類、治療の流れについて説明できる。 ・ブリッジの構成、種類、治療の流れについて説明できる。 ・CAD/CAMを用いたクラウン・ブリッジ治療の概要と臨床ステップについて説明できる。
5	10	5	月	2	星	クラウン・ブリッジ 2 1) 臨床ステップ① 2) クラウン・ブリッジの技工操作 (六. III-1-B~E、4,5-A・B)	・クラウン・ブリッジの臨床のステップ、使用器械、材料について説明できる。 ・CAD/CAMを用いたクラウン・ブリッジ臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。 ・クラウン・ブリッジの技工操作について理解できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6	10	15	木	2	八戸	クラウン・ブリッジ 3 1) 臨床ステップ② 2) 患者への説明と指導 3) 治療に伴うトラブルとその対応 (六. Ⅲ-1-B~E, 4,5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウン・ブリッジの臨床のステップ、使用器械、材料について説明できる。 ・CAD/CAMを用いたクラウン・ブリッジ臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。 ・クラウン・ブリッジ治療における患者への説明と指導ができる。 ・クラウン・ブリッジ治療に伴うトラブルとその対応について説明できる。
7	10	22	木	1	伊藤	全部床義歯 1 1) 無歯顎者の病態 2) 全部床義歯の構成要素 (六. Ⅲ-1-B, 2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・全部床義歯の概要について学び、無歯顎の生物力学的、生理学的特徴を説明できる。
8	10	29	木	1	伊藤	全部床義歯 2 1) 臨床ステップ① 2) 全部床義歯の技工操作① (六. Ⅲ-1-B・D, 2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。
9	11	5	木	2	伊藤	全部床義歯 3 1) 臨床ステップ② 2) 全部床義歯の技工操作② 3) 患者指導 (六. Ⅲ-1-B・D, 2-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床ステップ、装着後の口腔内および義歯の管理について説明できる。
10	11	12	木	1	金子	部分床義歯 1 1) 部分床義歯の分類 2) 部分床義歯の構成要素 (六. Ⅲ-1-B, 2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・部分床義歯の概要について学び、部分床義歯の構成要素と役割について説明できる。
11	11	19	木	1	金子	部分床義歯 2 1) 臨床ステップ① 2) 部分床義歯の技工操作① (六. Ⅲ-1-B・D, 2-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床ステップ、使用器械、材料について説明できる。
12	11	26	木	1	金子	部分床義歯 3 1) 臨床ステップ② 2) 部分床義歯の技工操作② 3) 特別な名称をもつ義歯 4) 患者指導、器材管理 (六. Ⅲ-1-D, 2-E, 6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床ステップ、装着後の口腔内および義歯の管理について説明できる。 ・特殊な義歯の特徴について理解し、有床義歯の補修法について説明できる。 ・器材の管理法について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
13	12	3	木	1	佐々木	インプラントの概要 1) インプラントとは 2) インプラントの基本構造 3) インプラント治療の流れ インプラント治療の実際 1 1) 検査・診断 2) 治療計画 3) インフォームドコンセント (六. Ⅲ-1-B、6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラントとは何か説明できる。 ・インプラントの基本構造を説明できる。 ・インプラント治療の流れを説明できる。 ・CAD/CAMや光学印象採得など、最新の治療機器を応用したインプラント治療について説明できる。 ・検査、検査項目について説明できる。 ・インフォームドコンセントの重要性と注意すべきポイントについて説明できる。
14	12	10	木	1	佐々木	インプラント治療の適応症と禁忌症 1) 口腔内条件 2) 全身疾患との関係 インプラント治療の実際 2 1) 術前処置 インプラント治療の実際 3 1) 手術前後の患者管理 インプラント治療の実際 4 1) 外科手術(一次) 2) 外科手術(二次) (六. Ⅲ-1-B、6-A・B、 IV-2-H)	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラント治療をおこなう上での口腔内の条件と、内科系・循環器系疾患などの全身疾患との関係について説明できる。 ・インプラント治療を開始するにあたり必要な外科、保存、補綴処置、サージカルステントについて説明できる。 ・手術前の禁煙指導、食事指導、当日、術後の食事指導について説明できる。 ・一次手術の術式と使用器具、術中の注意事項について説明できる。 ・二次手術の術式と使用器具、術中の注意事項について説明できる。
15	12	17	木	1	佐々木	インプラント治療の実際 5 1) 印象採得 2) 咬合採得 3) 補綴処置 インプラント治療の実際 6 1) 定期検査 2) メンテナンス 3) 偶発症 (六. Ⅲ-1-B、6-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・一次手術の術式と使用器具、術中の注意事項について説明できる。 ・二次手術の術式と使用器具、術中の注意事項について説明できる。 ・補綴処置の術式と使用器具、一般的な補綴処置との違いについて説明できる。 ・インプラント治療における定期検査、メンテナンスの重要性を理解し、検査項目、インプラント部のメンテナンス時の注意事項について説明できる。インプラント治療の偶発症について説明できる。
	1	15	金	4	定期試験		

第1学年 口腔外科学(歯科麻酔学含む)

時間数	20時間 (2時間×10回)
責任者・コーディネーター	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 教授 山田 浩之
担当教員	口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 教授 山田 浩之 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 講師 古城 慎太郎 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 講師 平野 大輔 口腔顎顔面再建学講座 口腔外科学分野 助教 高橋 美香子 口腔顎顔面再建学講座 歯科麻酔学分野 教授 佐藤 健一
実務経験	歯科医師
一般目標	口腔外科領域の疾患と全身との関わりについて学び、的確な手術介補や術前術後の説明を行う知識を習得する。また、麻酔の種類と特徴、注意事項について理解する。
成績評価	筆記試験(100%)の成績で評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「口腔外科学・歯科麻酔学」第2版 (医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	7	月	1	山田	総論1 1)口腔外科とは 2)おもな診査・検査と治療法 (六. I-3-A~E, 4-A~C) 総論2 3)全身疾患の理解 4)消毒・滅菌と感染症対策 (六. I-1-B, 九. I-6-A・B)	・口腔外科領域の主な疾患および診察と診断、検査の方法と意味を学び、歯科衛生士の役割について説明できる。 ・口腔外科領域の主な疾患および口腔疾患と全身との関わりを理解し、その中で歯科衛生士の役割について説明できる。また、滅菌と消毒の種類と方法、清潔、不潔について説明できる。
2	9	14	月	3	平野	先天異常と発育異常 1)歯の異常 2)先天異常(口唇裂・口蓋裂) 3)変形 4)口腔軟組織の異常 5)症候群 (六. IV-1-A) 口腔領域の損傷 1)歯の外傷 2)顎骨骨折 3)粘膜組織の損傷 (六. IV-1-B)	・口腔領域の先天異常と発育異常について、発生要因、症状、障害を学び、その処置法について説明できる。 ・口腔領域の損傷について、原因、症状を学び、その処置法について説明できる。
3	9	28	月	3	古城	口腔粘膜疾患 1)水疱、紅斑を主徴とする疾患 2)潰瘍、白斑を主徴とする疾患 3)その他の異常ないしは疾患 (六. IV-1-C) 口腔領域の炎症 1)歯周組織の炎症 2)顎骨の炎症 (六. IV-1-D)	・各種口腔粘膜疾患の特徴と治療の基本を説明できる。 ・歯槽部、顎骨および周囲組織の炎症の感染経路、症状および治療の基本を説明できる。
4	10	5	月	1	高橋	顎関節疾患 1)顎関節症 2)顎関節の外傷 (六. IV-1-G) 口腔領域の嚢胞 1)顎骨内にできる嚢胞 2)軟組織に生じる嚢胞 (六. IV-1-E)	・各種顎関節疾患の症状と治療の基本を説明できる。 ・顎骨および口腔軟組織に発生する各種嚢胞の特徴と治療の基本を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
5	10	19	月	1	古城	口腔領域の腫瘍及び類似疾患1 1) 歯源性腫瘍 (六. IV-1-F) 口腔領域の腫瘍および類似疾患2 1) 良性腫瘍 2) 悪性腫瘍 3) 前癌病変 4) 腫瘍類似疾患 (六. IV-1-F)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯源性腫瘍の特徴と治療の基本を説明できる。 ・ 顎口腔領域の良性腫瘍、悪性腫瘍および腫瘍類似疾患の種類と特徴および治療の基本を説明できる。
6	10	26	月	1	古城	唾液腺疾患 1) 炎症 2) 腫瘍 3) その他の疾患 (六. IV-1-H) 口腔領域の神経疾患 1) 神経痛 2) 神経麻痺 3) 舌痛症 (六. IV-1-I・K)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 唾液腺疾患の特徴と治療の基本を説明できる。 ・ 口腔・顎顔面領域の神経疾患の特徴を説明できる。
7	11	2	月	1	高橋	血液疾患の出血性素因 1) 赤血球系の疾患 2) 白血球系の疾患 3) 出血性素因 (六. IV-1-J) 創傷処置 抜歯術 1) 適応症と禁忌症 2) 抜歯の実際と介助 (六. IV-2-A・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔に症状を現わす血液疾患の特徴を説明できる。 ・ 創傷の処置と治療過程について学ぶ。また、抜歯術の適応症、禁忌症と、術式について説明できる。
8	11	4	水	1	佐藤	歯科麻酔と歯科衛生士 安全な歯科治療のため患者の全身状態を把握し、その対応法を理解する (六. IV-4-A~C、 九. V-5-A, IX-2-D)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全身状態の評価法を説明できる。 ・ バイタルサインの意味と見方を説明できる。 ・ ストレスに対する生体の反応を説明できる。 ・ 緊急時の対応法を列挙できる。
9	11	9	月	1	古城	口腔外科小手術1 1) 歯槽骨整形および骨瘤除去手術 2) 口腔インプラント 3) 切開・排膿 4) 嚢胞摘出術 (六. IV-2-B・D・E・F)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各小手術の術式と使用器材、介補について説明できる。
10	12	2	水	1	佐藤	麻酔法・精神鎮静法 麻酔法、精神鎮静法について理解する (六. IV-3-A~C、 九. V-5-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 局所麻酔法とその介助法について説明できる。 ・ 精神鎮静法とその介助法について説明できる。 ・ 全身麻酔法について説明できる。
	1	13	水	4	定期試験		

第1学年 小児歯科学

時間数	20時間（2時間×10回）
責任者・コーディネーター	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野 講師 齊藤 桂子
担当教員	口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野 講師 齊藤 桂子 口腔保健育成学講座 小児歯科学・障害者歯科学分野 非常勤講師 松本 弘紀
実務経験	歯科医師
一般目標	心身の発達途上にある小児と、小児期の口腔疾患について学び、適切な診療補助を行う能力を身につける。また、効果的な予防処置法および口腔保健指導を行う知識を習得する。
成績評価	筆記試験（中間50%、定期50%）の成績で総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ 小児歯科学（医歯薬出版）
参考書	歯科衛生士講座 小児歯科学 第2版（永末書店）

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	18	金	3	齊藤	小児歯科学概論 1)小児歯科学の意義 2)小児の歯科の特徴 心身の発育 1)発育の概念と分類 2)小児の生理的特徴 顔面頭蓋の発育 1)顎顔面頭蓋の発育 2)顎の発育 (六. VI-1-A・B・C・D・E)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児歯科と一般歯科の違いについて説明できる。 ・小児の発育と生理的特徴について理解できる。 ・顎顔面頭蓋の成長発育の過程と発育の評価法、および歯の形成、発育段階について理解できる。
2	9	18	金	4	齊藤	歯の発育と異常 1)乳歯・永久歯の特徴 2)歯の形成 3)歯の形成異常 4)歯の萌出と萌出異常 歯列・咬合の発育と異常 1)歯列・咬合の発育 2)歯列・咬合の発育異常 (六. VI-1-F・G・H・I)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯、幼若永久歯の永久歯との違いを説明できる。 ・歯の形成・形成異常について理解できる。 ・乳歯、永久歯の萌出時期と萌出順序について説明できる。 ・歯列、咬合の発育段階とその特徴について理解できる。
3	9	25	金	1	齊藤	歯科口腔保健管理 1)母子保健 2)保健管理の実態 3)食育 (四-VI-9-A・B・C) 小児への歯科的対応 1)小児患者の心理 2)歯科的対応の実際 (六. VI-3-A・B・C)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児を取りまく歯科保健について理解できる。 ・年齢別の歯科保健管理について説明できる。 ・小児の行動について学び、診療室における患児や保護者への対応法や注意点について理解する。 ・非協力的な患児に対する対応法について説明できる。
4	9	25	金	2	齊藤	小児の歯科疾患 1)乳歯・幼若永久歯の齲蝕 2)小児にみられる歯周疾患 3)小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患 口腔機能発達不全症 1)口腔機能発達不全症 2)口腔機能発達不全症の評価 (六-VI-2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・小児期の齲蝕の特徴について説明できる。 ・小児期の歯周疾患の特徴について説明できる。 ・小児期の軟組織疾患について説明できる。 ・口腔機能発達不全症について理解できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
5	9	30	水	1	齊藤	中間試験・試験問題演習	<ul style="list-style-type: none"> いままでの講義で学修した内容についての試験・演習を行うことで、小児歯科診療の概要について理解する。
6	10	8	木	2	松本	小児期の特徴と歯科的問題点 1) 低年齢児の特徴 2) 学童期、思春期の特徴 (六. VI-1-C、3-A) 小児歯科診療体系の流れ 1) 小児の歯科診療とその特徴 2) 小児歯科における診療補助 (六. VI-4-K) 小児歯科の診療補助の原則 1) 小児歯科診療における補助 2) 小児患者における麻酔法 (九. I-3-A、4-A・B・C)	<ul style="list-style-type: none"> 小児期の特徴について学び、歯科的問題点について説明できる。 小児歯科診療の概要について説明できる。 小児歯科診療における診療補助者の役割と小児歯科特有の注意点について説明できる。
7	10	22	木	2	松本	診察・検査 1) 診査 2) 診査時に行う検査と資料採取 (六. VI-3-A) (六. VI-4-A・D) 診療補助 1 1) 乳歯の歯冠修復処置 2) 小児の歯内療法処置 (六. VI-4-D・E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科診療における診査とそのため資料採取について理解できる。 乳歯の歯冠修復、小児の歯内療法における特徴、術式、使用器材について説明できる。
8	10	29	木	2	松本	診療補助 1 1) 乳歯の歯冠修復処置 2) 小児の歯内療法処置 3) 小児の歯周疾患処置 (六. VI-4-D・E・F)	<ul style="list-style-type: none"> 乳歯の歯冠修復、小児の歯内療法における特徴、術式、使用器材について説明できる。 小児の歯周疾患の特徴について説明できる。
9	11	12	木	2	松本	診療補助 2 1) 乳歯の抜歯 2) 小児の歯の外傷 3) 小児に対する薬物処方 4) 咬合誘導治療 (六. VI-4-B・C・G・H・I)	<ul style="list-style-type: none"> 小児の外科処置に関する知識を学び、適切な診療補助法について説明できる。 小児の咬合誘導、習癖について説明できる。
10	11	19	木	2	松本	齲蝕予防処置と進行抑制 1) 齲蝕予防 (四. III-3-A・B・C・D) 定期検診(リコール) 1) 定期検診の目的と方法 (六. VI-4-J)	<ul style="list-style-type: none"> 小児歯科の齲蝕予防処置法として、歯口清掃法、食生活指導、フッ化物応用などについて説明できる。 小児の定期健診の重要性について説明できる。
	1	8	金	4	定期試験		

第1学年 矯正歯科学

時間数	16時間 (2時間×8回)
責任者・コーディネーター	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 助教 浅沼 莞奈 口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 助教 上田 茜
担当教員	口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 助教 浅沼 莞奈 口腔保健育成学講座 歯科矯正学分野 助教 上田 茜
実務経験	歯科医師
一般目標	矯正治療の目的や不正咬合の状態と治療方法などを学び、適切な診療補助を行う能力を身につける。また、矯正治療中の口腔清掃指導や、患者管理を行うことができる知識を習得する。
成績評価	定期試験(100%)の成績で総合評価する。
教科書	歯科衛生士学シリーズ 歯科矯正学 第2版(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	30	水	2	上田	歯科矯正学概論 1) 歯科矯正学とは 2) 矯正歯科治療の目的と意義 歯科衛生士の役割 (五. I-3-B、4-A・B)	・矯正歯科治療の目的と意義を説明できる。 ・矯正歯科治療での歯科衛生士の役割を説明できる。
2	10	7	水	2	浅沼	成長発育 1) 成長発育とは 2) 頭蓋・顎顔面の成長発育 3) 歯列と咬合の発育 4) 口腔機能の発達 (六. V-1-A)	・頭蓋および顎顔面、歯と歯列の成長・発育について説明できる。 ・嚥下・咀嚼機能の発達について説明できる。
3	10	14	水	2	浅沼	咬合 1) 正常咬合と不正咬合 (六. V-1-B~D)	・正常咬合について説明できる。 ・不正咬合の種類について列挙できる。 ・Angleの分類を説明できる。
4	10	21	水	2	上田	咬合 1) 不正咬合の原因 2) 不正咬合の予防 (六. V-1-B~D)	・不正咬合の原因について列挙できる。 ・不正咬合の予防の意義を理解できる。
5	10	28	水	2	上田	矯正歯科治療における検査・分析・診断 1) 矯正歯科治療の流れ 2) 診断に必要な検査・分析 3) 矯正歯科治療における抜歯 (六. V-2-B、 九. VI-2-A~C)	・矯正歯科治療における診断法を理解し、必要な検査項目を列挙し、その意義を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
6	11	4	水	2	浅沼	矯正力と歯の移動 1) 矯正力 2) 歯の移動様式 3) 固定 4) 歯の移動と組織反応 (六. V-2-C, D)	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正力と移動する歯、固定源の関係を説明できる。 ・歯が移動する際の歯周組織反応を説明できる。
7	11	11	水	2	浅沼	矯正装置 1) 器械的矯正装置 2) 機能的矯正装置 3) 口腔筋機能療法 (六. V-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・矯正装置の分類法を理解できる。 ・口腔筋機能療法を理解できる。
8	11	25	水	2	上田	矯正装置 保定装置 まとめ (六. V-3-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・保定について説明できる。 ・講義で得た知識を臨床で実践できるよう、矯正歯科治療について総合的に理解を深める。
	1	14	木	3	定期試験		

第1学年 う蝕予防処置法

時間数	10時間 (2時間×5回) + 演習2回
責任者・コーディネーター	教員 鳥畑 美香
担当教員	教員 鳥畑 美香 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	う蝕の原因を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるための歯科衛生士の業務であるう蝕を予防する処置の技術・技能・および態度を習得する。
成績評価	筆答(100%)により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版)

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	5	26	火	3	鳥畑	第1講義室	基礎知識・総論 1)う蝕の病因と進行 2)う蝕予防処置の種類と目的 (四. I - 5 - A、III - 1 - A ~ D、 2 - A、3 - D 七. I - 1 - A・C)	・う蝕の原因と進行、予防方法について説明できる。 ・歯科衛生士が行うう蝕予防処置の法的位置づけについて説明できる。
2	6	2	火	1	鳥畑	第1講義室	フッ化物の基礎知識 1)フッ化物とは 2)フッ化物のう蝕予防効果 フッ化物の応用 1)フッ化物歯面塗布法 2)フッ化物洗口法 3)フッ化物配合歯磨剤 4)フッ化物応用における注意事項 (四. III - 2 - A・D、3 - A・D ~ F 七. I - 1 - C、III - 3 - A ~ C)	・フッ化物の基礎知識および予防効果について説明できる。 ・フッ化物応用の種類と特徴を説明できる。 ・フッ化物製剤の種類とフッ化ナトリウム及びフッ化物の濃度を説明できる。 ・フッ化物応用における注意事項を説明できる。
3	6	2	火	3	鳥畑	第1講義室	フッ化物洗口法 1)使用製剤 2)対象年齢 3)洗口方法 4)実施上の注意点 5)洗口実習 (四. III - 2 - A・D、3 - F、 七. III - 3 - B)	・使用製剤の種類とフッ化ナトリウム及びフッ化物の濃度および取り扱い法を説明できる。 ・対象年齢と洗口方法を説明できる。 ・フッ化物洗口法実施上の注意点を説明できる。 ・フッ化物洗口剤を調整し、正しい洗口方法で実施できる。
4	7	7	火	3・4	鳥畑 非常勤講師	第1実習室	フッ化物歯面塗布法 1)フッ化物歯面塗布法の種類 2)フッ化物製剤の種類 3)術後指導 フッ化物歯面塗布法 (マネキン実習) 1)簡易防湿 2)一般法:綿棒塗布法(溶液) (四. III - 2 - A、3 - D・F、 七. III - 3 - A)	・フッ化物歯面塗布法の適応歯と術式を理解できる。 ・使用するフッ化物製剤の種類と取扱いを説明できる。 ・フッ化物歯面塗布後の術後指導内容を説明できる。 ・簡易防湿の目的を理解し実施できる。 ・フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。
5	7	10	金	1・2	鳥畑 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	フッ化物歯面塗布法 (学生相互実習) 1)簡易防湿 2)一般法:綿棒塗布法(溶液) (四. III - 2 - A、3 - D・F、 七. III - 3 - A)	・フッ化物歯面塗布を安全に実施できる。 ・フッ化物塗布後の術後指導ができる。
	8	28	金	4	定期試験			

第1学年 歯周病予防処置法

時間数	60時間 (2時間×30回) + 演習2回
責任者・コーディネーター	教員 太田 彩香
担当教員	教員 太田 彩香 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯周病を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために必要な専門的知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	筆答90%と実習態度(身だしなみ、提出物含む)10%により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	20	月	3	太田	第1講義室	歯周病予防処置総論 歯周病予防処置の定義・種類・内容 (四.IV-2-A、 七.I-1-A・B、3-B・C)	・歯科衛生士法における歯科予防処置に関する用語を説明できる。 ・歯科衛生士業務のひとつである歯科予防処置の定義と種類を説明できる。
2	4	27	月	3	太田 非常勤講師	第1実習室	スケーリングの概要 1. 歯周診査用器材 2. 手用スケーラーの種類 3. 鎌型スケーラー・ キュレットスケーラーの特徴 (七.I-2-A、 II-2-B、3-A)	・歯周診査用器材の名称、形態および使用目的を説明できる。 ・手用スケーラーの種類、名称、形態の特徴を説明できる。 ・鎌型スケーラーとキュレットスケーラーについて形態の特徴を説明できる。
3	5	12	火	1	太田 非常勤講師	第1実習室	マネキン操作 1. マネキンの基本位置 デンタルミラーの使用方法 1. ミラーの使用上の注意 (七.I-3-A・C、九.I-4-B)	・マネキンを実習台に装着し、操作できる。 ・患者体位と術者の位置について説明できる。 ・デンタルミラーの役割、操作上の注意について説明できる。
4	5	19	火	1	太田 非常勤講師	第1実習室	鎌型スケーラーの基本操作 1. 使用目的と種類 2. スケーラーの把持・固定・動かし方 3. スケーラーの操作方法 操作上の注意 (七.I-3-A、II-3-A・B)	・鎌型スケーラーの基本操作の原則について説明できる。 ・顎模型上にて鎌型スケーラー操作ができる。
5	5	25	月	3	太田 非常勤講師	第1実習室	鎌型スケーラー／マネキン実習 1. 上顎前歯 唇側・口蓋側 (七.I-3-A、II-3-A・B)	・マネキン上にて上顎前歯部唇側、口蓋側の鎌型スケーラー操作ができる。
6	5	28	木	2	太田 非常勤講師	第1実習室	鎌型スケーラー／マネキン実習 1. 下顎前歯 唇側・舌側 (七.I-3-A、II-3-A・B)	・マネキン上にて下顎前歯部唇側、舌側の鎌型スケーラー操作ができる。
	6	22	月	3	太田 非常勤講師	第1実習室	鎌型スケーラー／実技試験	・マネキン上にて鎌型スケーラーを正しく選択し、操作できる。
7	6	25	木	3	太田 非常勤講師	第1実習室	探針の基本操作 1. 使用目的と種類 2. 探針の把持・固定・動かし方 3. 探針の操作方法 操作上の注意 (七.I-3-A・C、II-2-C)	・探針の使用目的と種類について説明できる。 ・顎模型上にて探針操作ができる。
8	6	29	月	3	太田 非常勤講師	第1実習室	簡易防湿・探針基本操作 ／マネキン実習 (七.I-3-A・C、II-2-C)	・簡易防湿の目的を理解し、実施できる。 ・各部位に合った歯肉縁下診査用探針の選択ができる。 ・探針操作時のポジショニングを理解し、顎模型上にて操作ができる。
9・10・演習	7	9	木	1 5 3	太田 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	スケーリング前処置 ／学生相互実習 1. 口腔内洗浄 2. 歯石の探知(探針・エアー) 3. バキューム・スリーウェイシリンジ操作 (七.I-3-A・C、II-2-C)	・学生相互の口腔内において、口腔内洗浄、歯石の探知、バキューム、スリーウェイシリンジの操作ができる。 ・口腔内への綿球落下時の対応を理解できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
11 13	7	23	木	1 3	太田 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	スケーリング／学生相互実習 1. 下顎前歯部 (七. I - 3 - A・C、II - 2 - C、 3 - A・B)	・学生相互の口腔内において、下顎前歯部の歯石の探知、スケーラー操作ができる。
14 15	8	19	水	1 2	太田 非常勤講師	第1実習室 第3実習室 第4実習室	機械的スケーラーの特徴・操作 1. 超音波スケーラーの原理・特徴 2. 音波スケーラーの原理・特徴 3. スケーリング時の操作 4. 歯周ポケット内洗浄時の操作 5. 使用時の注意事項 超音波スケーラーの取り扱い (七. II - 3 - A・B)	・超音波スケーラーと音波スケーラーを比較しながら、機械的スケーラーの特徴を説明できる。 ・機械的スケーラーの操作ができる。
16 17	9	1	火	1 2	太田 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	機械的スケーラー／マネキン実習 1. ユニットへの接続方法 2. 収納方法 3. 機械的スケーラーでのスケーリング 4. バキューム操作 (七. II - 3 - A・B)	・各種超音波スケーラーをユニットに接続し、収納することができる。 ・人工歯石付マネキン上にて、バキューム操作と併用して、機械的スケーラーでのスケーリング操作ができる。
18 20	9	8	火	1 3	太田 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	超音波スケーラー／学生相互実習 1. 超音波スケーラーでのスケーリング(上顎) 2. バキューム操作 (七. II - 3 - A・B)	・実際の口腔内にて、バキューム操作と併用して、超音波スケーラーでのスケーリング操作ができる。
21	11	24	火	1	太田	第1実習室	歯面研磨 1. 歯面研磨の目的・種類 2. 歯面研磨剤 3. 使用器材と操作方法 4. 注意事項 (七. I - 3 - A・C、II - 4 - A・B)	・歯面研磨の目的・種類について説明できる。 ・歯面研磨剤の種類と用途を説明できる。 ・使用器材と操作方法を説明できる。 ・歯面研磨時の注意事項を説明できる。
22	11	24	火	2	太田 非常勤講師	第1実習室	歯面研磨／マネキン実習 1. エンジン用器具による部位別操作法 2. 手用器具による隣接面研磨 (七. I - 3 - A・C、II - 4 - A・B)	・スケーリング後の歯面研磨について注意事項を説明できる。また、マネキン上でエンジン用器具及び手用器具による部位別の歯面研磨ができる。
23 24 演習	12	1	火	1 3	太田 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	歯面研磨/学生相互実習 1. 上顎 (七. I - 3 - A・C、II - 4 - A・B)	・学生相互の口腔内において、エンジン用器具及び手用器具による部位別の歯面研磨ができる。
25 26	12	8	火	1 2	太田 非常勤講師	第1実習室	歯周組織検査／マネキン実習 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 附着歯肉幅 5. 測定値の記録 (七. I - 3 - A・B、II - 2 - B・D)	・歯周組織検査の目的を説明できる。また、マネキン上にて歯周組織検査の各手技を行うことができる。
27	12	10	木	2	太田 非常勤講師	第1実習室	歯周組織検査／マネキン実習 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 附着歯肉幅 (七. I - 3 - A・B、II - 2 - B・D)	・歯周組織検査の目的を説明できる。また、マネキン上にて部位別に歯周組織検査ができる。
28 30	12	15	火	1 3	太田 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	歯周組織検査／学生相互実習 (下顎) 1. 歯周ポケット測定 2. クリニカルアタッチメントレベル 3. 歯の動揺度 4. 附着歯肉幅 (七. I - 3 - A・B、II - 2 - B・D)	・学生相互の口腔内において、歯周組織検査の各手技を行うことができる。
	1	20	水	2	定期試験			

第1学年 口腔保健管理法

時間数	116時間 (2時間×58回)+演習1回
責任者・コーディネーター	教員 鳥畑 美香
担当教員	教員 金子 由美子 教員 鳥畑 美香 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	生涯を通じた継続的な口腔保健管理法をライフステージごとに実践できる能力を身につけることを目的として、口腔や歯の健康を維持増進するための口腔清掃法を習得する。特に、障害者に対する口腔保健管理法は臨地実習と連携をとり、その進め方について習得する。
成績評価	筆答(100%)により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版) オーラルヘルスケア事典(学建書院)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	8	水	2	金子	第1講義室	口腔保健管理の概要 口腔の基礎知識 1 (二. I-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔保健の定義について説明できる。 歯・歯周組織と口腔の構造と機能を説明できる。
2	4	10	金	1	金子	第1講義室	口腔の基礎知識 2 (一. II-9-A、二. II-1-E 三. II-8-A・B、 四. I-3-B、I-5-A、)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・歯周組織と口腔の構造と機能を説明できる。 摂食嚥下の仕組みを概説できる。
3	4	14	火	3	金子	第1講義室	口腔内観察 1 1) 口腔内観察のポイント 2) 口腔内観察の記録方法 (七. I-3-A~C)	<ul style="list-style-type: none"> 歯・口腔の観察・記録ができる。 歯・口腔の疾患と異常の観察ができる。 歯・口腔の付着物と沈着物の観察ができる。
4	4	16	木	2	金子	第1講義室	口腔衛生管理 1 (四. II-1-A・B、 四. II-2-A、 八. III-1-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔衛生管理に関する清掃用具を説明できる。
5	4	17	金	1	金子	第1講義室	口腔衛生管理 2 (四. II-3-A~C、4-A・B、 八. III-1-B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨剤、洗口液・洗口剤の特徴を説明できる。
6	4	21	火	1	金子	第1講義室	口腔衛生管理 3 (四. II-5-A)	<ul style="list-style-type: none"> 各種ブラッシング方法を説明できる。
7	4	23	木	2	金子	第1講義室	口腔衛生管理 4 (四. II-1-B、2-B・C、 八. III-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔衛生管理に関する清掃用具を説明できる。
8	5	1	金	3	金子	第1講義室	口腔衛生管理 5 (四. II-5-A)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔衛生管理に関する清掃用具を取り扱うことができる。
9	5	13	水	2	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(I) 1) 乳児期 (八. III-3-A、IV-3-A V-III-A)	<ul style="list-style-type: none"> 乳児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
10	5	15	金	2	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(II) 1) 幼児期 (八. III-3-A、IV-3-A V-III-A)	<ul style="list-style-type: none"> 幼児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
11	5	15	金	4	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(III) 1) 学齢期 (八. III-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 学齢期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
12	5	20	水	4	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(IV) 1) 青年期・成人期 (八. III-3-A、IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> 青年期・成人期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
13	5	21	木	2	金子	第2実習室	口腔内観察 2 1) 歯垢染色剤 (四. II-5-C)	・歯垢染色法を説明できる。 ・歯垢染色剤の目的を説明できる。 ・歯垢染色剤を取り扱うことができる。
14 ・ 15	5	22	金	1 ・ 2	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察 3 1) 歯垢染色剤による観察・1 (四. II-5-C)	・歯垢染色法を説明できる。 ・歯垢染色剤の目的を説明できる。 ・歯垢染色剤を取り扱うことができる。
16 ・ 17	5	29	金	1 ・ 2	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察と口腔清掃方法 1 1) 歯垢染色剤による観察・2 2) ブラッシング方法・1 (四. II-5-C、 八. III-2-A・B)	・歯垢染色剤を取り扱うことができる。 ・歯・口腔の観察・記録をすることができる。 ・各種ブラッシング方法を実技として行うことができる。
18 ・ 19	6	12	金	3 ・ 4	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察と口腔清掃方法 2 1) 歯垢染色剤による観察・3 2) ブラッシング方法・2 3) 補助清掃用具 (四. II-1-B、2-B・C、 5-A・C・D、八. III-1-A)	・歯垢染色剤を取り扱うことができる。 ・歯・口腔の観察・記録をすることができる。 ・各種ブラッシング方法を実技として行うことができる。 ・各種清掃用具を実技として行うことができる。
20 ・ 21	6	15	月	1 ・ 2	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察と口腔清掃方法 3 1) 歯垢染色剤による観察・4 2) 歯科保健指導 (八. II-1-A~E、III-1~3 IV-1-A、3-A)	・歯垢染色剤を取り扱うことができる。 ・歯・口腔の観察・記録をすることができる。 ・歯科保健指導ができる。
22	6	30	火	1	金子	第1講義室	分析のためのデータ 1) 口腔衛生状態の指数・1 (四. VI-1-C、 八. II-1-E、III-2-A)	・口腔清掃状態の指数を説明できる。 ・口腔清掃状態の評価ができる。
23	7	8	水	2	金子	第1講義室	分析のためのデータ 1) 歯周疾患の指数・1 (四. VI-1-C、VII-1-B 八. II-1-E、III-2-A)	・歯周疾患の指数を説明できる。 ・歯周疾患の評価ができる。
24 ・ 25	7	16	木	1 ・ 2	金子 非常勤講師	第2実習室	口腔内観察と口腔清掃方法 4 1) 歯垢染色剤による観察・5 2) 口腔衛生状態の指数・2 3) 歯周疾患の指数・2 (四. II-1-B、VII-1-B)	・歯垢染色剤を取り扱うことができる。 ・歯・口腔の観察・記録をすることができる。 ・口腔清掃状態の評価ができる。 ・歯周疾患の評価ができる。
26	9	1	火	3	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(V) 1) 障害児者 (四. IX-6-B、八. III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・障害児者の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ・障害児者に応じた歯科保健指導ができる。
27 ・ 28	9	3	木	1 ・ 2	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 1 1) 知的障害者に対する指導 (知的障害者の理解) (四. IX-6-B、八. III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・臨地実習: 障害者支援施設「緑生園」実習の内容を理解できる。
29 ・ 30 ・ 演習	9	4	金	1 ・ 3	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 2 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四. IX-6-B、八. III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・臨地実習: 障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演習することができる。
31 ・ 32	9	11	金	1 ・ 2	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 3 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四. IX-6-B、八. III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・臨地実習: 障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演習することができる。
33 ・ 34	9	14	月	1 ・ 2	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 4 1) 想定演習(グループワーク) (四. IX-6-B、八. III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・各症例において、歯科的問題点を抽出し列挙できる。 ・歯科的問題点の原因を考察できる。 ・歯科的問題点に対する指導内容を決定できる。 ・指導方法・指導媒体を選択できる。
35 ・ 36	9	17	木	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 5 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四. IX-6-B、八. III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・臨地実習: 障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演習することができる。
37 ・ 38	9	24	木	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 6 1) 緑生園実習準備 2) 想定演習 (四. IX-6-B、八. III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・臨地実習: 障害者支援施設「緑生園」における個人指導の内容をシミュレートし演習することができる。
39 ・ 40	10	8	木	3 ・ 4	鳥畑	第1講義室 第2実習室 実験室	緑生園実習準備	・臨地実習: 障害者支援施設「緑生園」の準備ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
41	10	14	水	1	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 7 緑生園実習報告会 1)実習報告 2)自己評価 (四.IX-6-B、八.III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・臨地実習終了後の学生各自の学びについて報告し合い、他の学生と学びを共有できる。 ・実習記録・実習評価票により各自の保健指導を評価することができる。
42	10	19	月	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(VI) 1)老年期 (六.VII-2-E、八.III-3-A、 IV-3-A)	・老年期の一般的特徴、口腔の特徴、望ましい歯科保健行動を説明できる。 ・ライフステージに応じた歯科保健指導ができる。
43	10	22	木	3	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理 1)義歯装着者の口腔清掃 2)義歯の取り扱い 3)義歯の機械的、化学的清掃 (六.III-2-E、九.IV-5-C 八.III-3-A・B)	・義歯の構成を理解できる。 ・義歯取扱いの注意事項を理解し説明することができる。 ・義歯の機械的清掃、化学的清掃を理解できる。 ・義歯装着者に応じた口腔清掃法を理解できる。
44	10	22	木	4	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理 1)義歯清掃の実際 2)機械的および化学的清掃法の実際 (六.III-2-E、九.IV-5-C 八.III-3-A・B)	・義歯の機械的清掃、化学的清掃を実施できる。 ・義歯装着者に応じた口腔清掃法と管理指導ができる。
45 ・ 46	10	27	火	1 ・ 2	鳥畑	第2実習室	口腔保健管理の実際 9 1)義歯清掃 2)義歯装着者の口腔清掃 (グループワーク、学生相互実習) (六.III-2-E、九.IV-5-C 八.III-3-A・B)	・義歯取り扱いに関する問題点を抽出できる。 ・問題点の原因を考察できる。 ・義歯清掃の指導ができる。 ・義歯装着者に応じた口腔清掃法と管理指導ができる。
47	10	27	火	3	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 10 1)身体障害者に対する指導 (身体障害者の理解) (四.IX-6-B、八.III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・臨地実習:障害者支援施設「岩手ワークショップ」実習の内容を理解できる。
48 ・ 49	10	29	木	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 11 1)岩手ワークショップ実習準備 2)想定演習 (四.IX-6-B、八.III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
50 ・ 51	11	2	月	2 ・ 3	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 13 1)想定演習 (グループワーク) 歯周疾患、義歯装着に対する 歯科保健指導 (八.III-3-A、 IV-3-A、V-III-A)	・各症例において、歯科の問題点を抽出し列挙できる。 ・歯科の問題点の原因を考察できる。 ・歯科の問題点に対する指導内容を決定できる。 ・指導方法、指導媒体を選択できる。
52 ・ 53	11	12	木	3 ・ 4	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 12 1)岩手ワークショップ実習準備 2)想定演習 (四.IX-6-B、八.III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
54 ・ 55	11	17	火	1 ・ 2	鳥畑 非常勤講師	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 14 1)岩手ワークショップ実習準備 2)想定演習 (四.IX-6-B、八.III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・障害者支援施設「岩手ワークショップ」における個人指導の内容をシミュレートし演示することができる。
56	11	17	火	3	鳥畑	第2実習室 実験室	口腔保健管理の実際 15 1)岩手ワークショップ実習準備	・障害者支援施設「岩手ワークショップ」実習の準備ができる。
57	11	24	火	3	鳥畑	第1講義室	口腔保健管理の実際 16 岩手ワークショップ実習報告会 1)実習報告 2)自己評価 (四.IX-6-B、八.III-3-A、 IV-3-A、V-III-A・B)	・臨地実習終了後の学生各自の学びについて報告し合い、他の学生と学びを共有できる。 ・実習記録・実習評価票により各自の保健指導を評価することができる。
58	12	2	水	3	金子	第2実習室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(VII) 1)要介護高齢者 (六.VII-1-A、 八.III-3-A、IV-3-A)	・要介護者の特徴を説明できる ・要介護高齢者への歯科保健指導ができる。
	1	19	火	2	定期試験			

第1学年 保健指導法

時間数	30時間(2時間×15回)+演習2回
責任者・コーディネーター	教員 金子 由美子
担当教員	教員 金子 由美子 教員 鳥畑 美香
実務経験	歯科衛生士
一般目標	ライフステージ毎に多様な生活環境・健康状態にある個人及び集団に対し、最も適切な歯科保健行動がとれるよう、歯科衛生士として専門的な立場から支援できる能力を身につける。
成績評価	筆答(100%)により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版) オーラルヘルスケア事典 第2版(学建書院)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	13	月	4	金子	第1講義室	歯科保健指導総論 1. 歯科保健指導の概念 (四.VII-1-A~D、IV-2-H 八. I-2-C~E)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士の法的な位置づけを説明できる。 ・ 歯科保健指導の業務を概説できる。 ・ 他職種が行う保健指導を理解できる。
2	4	17	金	4	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(I) 1) 妊産婦期 (八.III-3-A、IV-3-A、V-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ・ 必要な栄養素と食生活指導を説明できる。
3	5	12	水	3	鳥畑	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(II) 1) 乳児期 (八.III-3-A、IV-3-A、V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
4	5	15	金	1	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(III) 1) 幼児期 (八.III-3-A、IV-3-A、V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
5	5	15	金	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(IV) 1) 学齢期 (四.IX-1-B、4-A~C、 八.III-3-A・B、IV-3-A、 V-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学齢期の一般的特徴と口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。 ・ 食生活指導を説明できる。
6	5	18	月	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(V) 1) 青年期 (四.IX-1-B、八.III-3-A・ B、IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青年期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
7	5	19	火	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(VI) 1) 成人期 (四.VI-6-A、IX-1-B、 八.III-3-A・B、IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成人期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
8	6	23	火	1	金子	第1講義室	歯科保健指導 1) 歯科保健指導の手順 (八. I-1-A~C、2-A・B、 II-1-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科保健指導の意義と目的を説明できる。 ・ 歯科保健指導の進め方を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	9	3	木	3	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅶ) 1) 障害児者 (四-Ⅸ-6-D、 六.Ⅶ-1-A、2-A・B、3-B 八.Ⅲ-3-A・B)	・障害児者の一般的特徴と歯科的特徴を説明できる。 ・障害児者の歯と口の健康管理の現状と重要性を理解できる。
10	9	15	火	1	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅷ) 1) 老年期 (四.Ⅸ-1-B、六.Ⅶ-2~3、 八.Ⅲ-3-A~C、Ⅳ-3-A、 Ⅳ-3-A)	・老年期の一般的特徴、口腔の特徴、歯科保健行動を説明できる。
11	9	24	木	1	金子	第1講義室	ライフステージ別保健行動及び歯科保健指導目標(Ⅸ) 1) 要介護高齢者 (四.Ⅸ-1-B、六.Ⅶ-2~5、 八.Ⅲ-3-A~C、 Ⅳ-3-A・B)	・要介護高齢者の身体疾患と口腔疾患について説明できる。
12	10	5	月	3	金子	第1講義室	生活習慣の指導・1 1) 非感染性疾患(NCDs) (四.Ⅵ-6-A~C、八.Ⅳ-1 -A・B、2-A、3-A~C)	・非感染性疾患(NCDs)の症例に合わせた歯科保健指導ができる。
13	10	13	火	3	金子	第1講義室	生活習慣の指導・2 1) 喫煙者に対する指導 (四.Ⅵ-6-A、八.Ⅳ-1-A、 2-A、3-A~C)	・禁煙指導・支援ができる。
14	10	21	水	1	金子	第1講義室	大規模災害被災者 (四.Ⅸ-7-A・B、五.Ⅰ-6- A~C、八.Ⅲ-3-C、 八.Ⅳ3-C)	・大規模災害被災者の特徴を説明できる。 ・大規模災害時の歯科保健活動を説明できる。
15	10	28	水	1	金子	第1実習室	歯科衛生教育活動 教育媒体の作成・1 1) 健康教育 (四.Ⅸ-1-A~J、八.Ⅵ-1- A~D、2-A~E)	・健康教育の概要を説明できる。 ・健康教育活動の方法を説明できる。 ・健康教育に必要な情報を収集できる。
演習	11	5	木	1	金子	第1実習室	教育媒体の作成・2 (四.Ⅸ-1-A~J、八.Ⅵ-1- A~D、2-A~E)	・歯科衛生教育活動時に使用する教育媒体をパソコンを使用して作成することができる。
	1	18	月	2				

第1学年 栄養指導法

時間数	16時間 (2時間×8回)
責任者・コーディネーター	つしだ糖尿病内科・眼科クリニック 俵 万里子
担当教員	つしだ糖尿病内科・眼科クリニック 俵 万里子
実務経験	管理栄養士
一般目標	歯科保健指導の一環として、歯科衛生士が個人あるいは集団の人々に栄養・食生活指導ができる能力を身につけるため、栄養学で学ぶ基礎知識をもとに、ライフステージ別の栄養・食生活に関する教育的働きかけの内容を学ぶ。
成績評価	筆答(100%)により評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「人体の構造と機能3 栄養学」(医歯薬出版) オールガイド五訂増補食品成分表2025(実教出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	10	16	金	4	俵	栄養指導の意義 歯科保健指導の一環としての栄養指導の意義を理解する。 母性栄養指導 女性のライフサイクルから母性の各段階をとらえ、特に、妊婦に対する栄養指導上の問題点と指導ポイントについて学ぶ。 (八. V-1-D、3-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養指導の目的と必要性を説明できる。 ・母性栄養指導上の問題点を説明できる。 ・栄養所要量と摂取量の問題点を説明できる。 ・妊娠初期・中期・後期における食事指導のポイントについて説明できる。 ・胎児の歯の形成時期に関連づけた栄養指導のポイントについて説明できる。
2	10	23	金	4	俵	乳児期栄養指導 出生後から1年間の「哺乳」と「離乳」の意味を理解し、その内容と方法について学ぶ。 (八. IV-3-A、V-1-D、3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳汁栄養の種類と方法について説明できる。 ・母乳栄養の意義について説明できる。 ・離乳の定義について説明できる。 ・離乳期の各段階における指導内容と問題点の概要について説明できる。
3	10	30	金	4	俵	幼児期栄養指導 発達段階に合った望ましい幼児食の内容と指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A、V-1-D)	<ul style="list-style-type: none"> ・食事摂取基準をもとに、食構成・食の目安・望ましい食物の配分について説明できる。
4	11	13	金	4	俵	学童及び思春期栄養指導 小学生・中学生・高校生の各時期における食生活の現状と問題点を理解し、健康な身体をつくるための指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・この時期の食生活に起因する栄養の問題点について説明できる。 ・学校給食と家庭の食事において、何をどれだけ食べたべたら良いか説明できる。 ・肥満と貧血について、身体的特徴と栄養指導のポイントが説明できる。 ・小児期生活習慣病について説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
5	11	20	金	4	俵	成人期栄養指導 成人期における食生活の現状と問題点を理解し、健康な身体をつくるための指導のポイントについて学ぶ。 (八. IV-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> この時期の食生活に起因する栄養の問題点について説明できる。 生活習慣病に応じた食生活指導ができる。
6	11	27	金	4	俵	甘味食品の摂取法 全身の健康・齲蝕予防・嗜好の観点から砂糖をとらえ、シュガーコントロールの考え方を理解する。また、代用甘味料を含む甘味食品の与え方について学ぶ。 心身障害者に対する食事指導 心身障害者の食生活の現状について理解し、口腔の機能面を視野に入れた望ましい食生活への援助の仕方について学ぶ。 (四. III-2-A、 八. V-3-B・C)	<ul style="list-style-type: none"> 食生活と齲蝕予防におけるシュガーコントロールの考え方について説明できる。 砂糖の消費と齲蝕有病との関係を説明できる。 代用甘味料の種類と特徴について説明できる。 望ましい甘味食品の与え方を説明できる。 食品の砂糖含有量について資料を作成できる。 心身障害者の食生活の現状について説明できる。 適切な食事環境や食事姿勢について説明できる。 食物の調理形態や水分摂取の方法について説明できる。
7	12	11	金	4	俵	寝たきり高齢者に対する食事指導 寝たきり高齢者の食生活の現状について理解し、口腔の機能面を視野に入れた望ましい食生活への援助の仕方について学ぶ。 (八. V-3-B・C)	<ul style="list-style-type: none"> 寝たきり高齢者の食生活の現状について説明できる。 摂食嚥下障害者に対する適切な食事環境や姿勢について説明できる。 摂食嚥下障害者に対する食物の調理形態や水分摂取の方法について説明できる。
8	12	18	金	4	俵	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> これまでの栄養・食生活指導について学んできた内容を総合的に実践する。(グループワーク・食事記録の実施など)
	1	15	金	2	定期試験		

第1学年 歯科診療補助法

時間数	86時間(2時間×43回)
責任者・コーディネーター	教員 佐藤 佳奈枝
担当教員	教員 佐藤 佳奈枝 教員 鳥畑 美香 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な基本的知識、技術および態度を習得する。
成績評価	筆答90点、授業・実習態度(身嗜み、忘れ物、提出物含む)10点により総合的に評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論第2版」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学概論」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科機器」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	9	木	1	佐藤	第1講義室	歯科診療補助の概要 1) 歯科診療補助の法的位置づけ 2) 歯科衛生士の行う歯科診療の補助 (九. I-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科衛生士の法的位置づけを説明できる。 歯科衛生士の行う歯科診療の補助を説明できる。
2	4	17	金	2	佐藤	第1講義室	歯科診療室の基礎知識 1) 歯科診療室の環境 2) 歯科診療室の基礎知識 3) 歯科用ユニット、薬品、歯科材料の管理 (九. I-3-A, 5-A~F)	<ul style="list-style-type: none"> 診療室の環境、設備について説明できる。
3	4	20	月	4	佐藤	第1講義室	適切な患者対応 (歯科衛生士としての心構え) 1) 歯科診療所における患者対応 2) 特別な配慮が必要な患者 (九. I-3-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 適切な患者対応について説明できる。 患者の状態に応じた対応ができる。
4・5	4	24	金	1・2	佐藤 非常勤講師	第1講義室 第3実習室 第4実習室	実習の心得 1) 実習室における実習の心得 2) 身だしなみ 3) 実習室の設備、使い方、清掃方法、後始末方法 4) 清潔域と不潔域 歯科用ユニット 1) 各部の名称と操作方法 2) メンテナンス 3) コンプレッサー 4) ユニット操作実習 (九. I-5-A)	<ul style="list-style-type: none"> 実習をするにあたり、その心得と身だしなみについて理解する。 学校の実習室の使用方法を理解する。 歯科用ユニットの各部名称を説明できる。 歯科用ユニットの管理ができる。
6	4	30	木	2	佐藤	第1実習室	検査・診断時の業務 1) 医療面接 2) 診査用器材の取り扱い (六. I-1-A, 2-A, 九. I-2-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 医療面接について説明できる。 歯科診査用器具の取り扱い方法を説明できる。
7	5	1	金	2	佐藤	第1講義室 第4実習室	共同動作1 1) 共同動作の概念 2) 共同動作におけるポジショニング 3) 診療時のライティング 4) フォーハンド (九. I-4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 共同動作の概念を述べることができる。 適切なポジショニングを実施できる。
8・9	5	11	月	3・4	佐藤 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	共同動作2 患者誘導・ポジショニング (学生相互実習) 1) ユニットへの患者誘導 2) 適切なポジショニング 3) フォーハンド (九. I-3-A, 5-A)	<ul style="list-style-type: none"> チェアユニットの各部名称を理解し、操作できる。 安全で確実な患者誘導をし、診療に際して適切なポジションをとることができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
10	5	19	火	2	佐藤 非常勤講師	第1実習室	共同動作3 器具の受け渡し 1 1) 受け渡しに適した位置と避ける位置 2) ペングリップとパームグリップによる受け渡し (九. I-4-C)	・器具の取り扱いや受け渡しを実施できる。
11 ・ 12	6	5	金	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第1実習室 第3実習室 第4実習室	共同動作4 バキュームテクニック 1 (基本操作) 1) バキュームの基本技法 2) バキュームテクニックの応用 3) 3wayシリンジの基本操作 (九. I-4-A・B・D)	・バキュームテクニックの基本を理解できる。
13 ・ 14	6	18	木	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	実習準備1 マネキン実習時 1) 実習室の使い方 2) 実習準備 3) ローテーション時の動き 4) 実習後始末	
15 ・ 16	6	19	金	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	共同動作4 バキュームテクニック 2 (マネキン実習) 1) 実習準備・後始末 2) バキュームの基本技法 (九. I-4-A~D)	・バキュームの操作方法を理解し、基本的操作ができる。
17 ・ 18	7	3	金	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	実習準備2 学生相互実習時 1) 実習室の使い方 2) 実習準備 3) ローテーション時の動き 4) 実習後始末	
19 ・ 20	7	6	月	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	共同動作4 バキュームテクニック 3 (学生相互実習) 1) バキュームの操作方法 2) 診療時のライティング (九. I-4-A~D)	・バキュームの操作方法を理解し、基本的操作ができる。 ・状況に応じた適正なライティングができる。
21 ・ 23	9	2	水	1 ・ 3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	ラバーダム防湿法 (マネキン実習) 1) 使用器材の名称 2) 使用目的と操作方法 3) 部位別、ラバーダム防湿 4) 多数歯ラバーダム防湿 5) 無翼型クランプによる装着 (六. II-C, 九. III-1-A)	・ラバーダム防湿の目的と器具の用途について説明できる。 ・マネキンを使用してラバーダム防湿を実施できる。
24 ・ 25	9	18	金	1 ・ 2	鳥畑 非常勤講師	第3実習室 第4実習室	患者介助実習 1) 車椅子の基本操作 2) 視覚障害者の歩行介助 3) 聴覚障害者の歯科保健指導 (九. IX I-3-B)	・車椅子の基本操作ができる。 ・視覚障害者の歩行介助ができる。 ・聴覚障害者に対する歯科保健指導を實踐できる。
26 ・ 27	9	29	火	1 ・ 2	佐藤 非常勤講師	第2実習室	切削用機器 1) 種類(回転切削器具、手用切削器具、レーザー) 2) 操作方法 3) 消毒方法 4) メンテナンス (九. III-2-A)	・歯科診療に使用される切削用機器の種類と取り扱い方を説明できる。
28	11	26	木	2	佐藤 非常勤講師	第2実習室	歯間分離法・隔壁法 1) 歯間分離とは 2) 各種セパレーターの取り扱い 3) 隔壁法とは (九. III-1-A)	・歯間分離と隔壁法について理解し、使用器具の取り扱いができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
29	11	30	月	3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	歯内療法の実際 1) 歯内療法の概要 2) 歯内療法の検査 3) 抜髄・根管治療の使用器具器材 (六. II-2-E~I 九. III-6・7)	<ul style="list-style-type: none"> 歯内療法の手順を説明できる。 歯内療法で使用する器具の名称と用途を説明できる。
30 32	12	3	木	2 4	佐藤 非常勤講師	第1実習室 または 技工実習室	補綴治療時の歯科診療補助 プロビジョナルレストレーション作 1) 各種作製法(直接法・間接法) 2) 既製冠使用による プロビジョナルレストレーションの作製 (九. IV-4-A)	<ul style="list-style-type: none"> プロビジョナルレストレーションの各種作製方法と手順、使用器具・材料を理解し、説明できる。 既製レジン冠を使用したプロビジョナルレストレーションの作製ができる。
33	12	7	月	3	佐藤 非常勤講師	第1実習室	口腔内写真撮影の介助 1) 口角鉤の使い方 2) 撮影用ミラーの使い方 (九. I-4-A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 口腔内写真撮影用器材の取り扱いができる。 口腔内写真撮影の介助ができる。
34 37	12	9	水	1 4	佐藤 非常勤講師	第1実習室	口腔外科診療の実際 1) 局所麻酔時に使用する器材 2) 普通抜歯時に使用する器材 3) 口腔外科手術時に使用する器材 (九. V-1-A、2-A、4-A、 5-A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科局所麻酔用の器材の名称と用途を説明できる カートリッジ式注射器の準備ができる。 口腔外科治療で使用する器具の名称と用途を説明できる。 切開・縫合の準備ができる。
38 39	12	17	月	2 3	佐藤 非常勤講師	技工基礎 実習室	共同動作5 器具の受け渡し 2 1) 各種治療の術式に沿った 受け渡し (九. I-4-C)	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な治療の術式に沿って、受け渡しを実施できる。
40 43	1 1 1	26 27 29	火 水 金	1 4	佐藤	第2実習室 第4実習室	スタディモデル作製 (学生相互実習) 1) 学生相互での概形印象採得 2) 石膏模型の作製 (九. II-1・3-A)	<ul style="list-style-type: none"> スタディモデル作製のため、相互で上下全顎の印象採得ができる。 採得した印象から石膏模型を作製できる。
	2	1	月	2	定期試験			

第1学年 医療安全管理法

時間数	16時間 (2時間×8回)
責任者・コーディネーター	教員 佐藤 佳奈枝
担当教員	教員 佐藤 佳奈枝 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科医療機関において医療安全管理を行うために、滅菌、消毒法と感染予防法についての知識と技術、態度を習得する。
成績評価	筆答90点、授業・実習態度(身嗜み、提出物、忘れ物含む)10点により総合的に評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論 第2版」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科衛生学概論」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	4	9	木	2	佐藤	第1講義室	医療安全と感染予防 1) 医療安全とは 2) 歯科診療時における医療安全対策 3) インシデント(偶発事象)とアクシデント(医療事故) 4) KYT (五. I - 5 - A)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科診療における医療安全と対策を説明できる。 医療安全対策に関する用語を説明できる。 インシデント・アクシデント報告の目的を具体的に述べることができる。
2	4	17	金	3	佐藤	第1講義室	感染予防 I 歯科医療における感染予防対策1 1) 感染症と感染予防対策 2) 標準予防策 3) 医療従事者としての対応 (四. VI - 5 - A 五. I - 5 - A・B、 九. I - 6 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。 標準予防策を具体的に説明できる。
3 ・ 4	4	24	金	3 ・ 4	佐藤 非常勤講師	第1講義室 第3実習室 第4実習室	感染予防 II 手指衛生(手指消毒) 1) 手指衛生の分類と方法 2) 個人防護具の着脱 (五. I - 5 - A・B、 九. I - 6 - C)	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い評価キットを使用し、洗い残しの多い部位を理解できる。 手指衛生を正しく理解し行うことができる。 防護用具の目的を理解し、正しく着脱ができる。
5 ・ 6	5	26	火	1 ・ 2	佐藤	第1講義室	感染予防 III 滅菌・消毒 1) 滅菌・消毒の定義 2) 滅菌 3) 消毒 (九. I - 6 - A ~ E)	<ul style="list-style-type: none"> 滅菌・消毒の定義が説明できる。 滅菌・消毒・洗浄の方法について説明できる。 消毒薬の特徴と用途を説明できる。 各種滅菌機械、消毒薬の管理が説明できる。
演習	5	29	金	4	佐藤	第1講義室	演習 1) インシデント事例 2) インシデント報告書の書き方	<ul style="list-style-type: none"> 過去の事例報告から、本校で頻度の高い事例を理解することができる。 インシデント報告書の書き方を説明できる。
7	6	8	月	2	佐藤	第1講義室	感染予防 IV 医療廃棄物の取り扱い 1) 廃棄物の概要 2) 分類・分別・処理方法 (五. I - 5 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 医療廃棄物の分類と分別について説明できる。 医療廃棄物の処理責任者、処理方法について説明できる。
8	6	29	月	2	佐藤	第1講義室	感染予防 V 歯科医療における感染予防対策2 1) リスクアセスメント 2) 環境感染予防対策 3) 血液・体液曝露事故対策 (五. I - 5 - C)	<ul style="list-style-type: none"> 感染のリスクを説明できる。 歯科診療室、歯科機器等の感染予防について説明できる。 血液・体液曝露事故発生後の対応と防止策を理解し、説明できる。
	8	31	月	2	定期試験			

第1学年 歯科材料学

時間数	30時間 (2時間×15回)
責任者・コーディネーター	医療工学講座 教授 武本 真治
担当教員	医療工学講座 教授 武本 真治 医療工学講座 助教 佐々木 かおり
一般目標	歯科診療で用いる歯科材料の基本的性質を理解し、適正な取り扱い・操作を行うために必要な基礎知識を習得する。
成績評価	演習(22%)、筆記試験(70%)、プレテストおよびポストテスト(8%)により総合的に評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科材料」(医歯薬出版)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1	9	8	火	4	武本	歯科材料学概論 歯冠修復材(金属) (六.Ⅱ-1-B、Ⅲ-1-B、2、3、 4、5、6、九.Ⅳ-5-A、B)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯冠修復用材料の製作過程(鑄造)から歯科衛生士として必要な材料を列挙できる。 ・歯冠修復材料の名称を列挙できる。 ・歯科用合金の種類を列挙できる。
2	9	15	火	4	佐々木	材料の基礎知識1 (六.Ⅱ-1-B、Ⅲ-1-B、2、3、 4、5、6、九.Ⅳ-5-A、B)	<ul style="list-style-type: none"> ・応力と力、ひずみを説明できる。 ・熱による膨張と収縮を説明できる。 ・硬化反応を説明できる。 ・化学的性質を説明できる。 ・生物学的性質を説明できる。 ・接着を説明できる。
3	9	29	火	4	武本	印象材1 ハイドロコロイド印象材 (九.Ⅱ-3-A、B)	<ul style="list-style-type: none"> ・印象材の種類を列挙できる。 ・印象材の硬化反応を説明できる。 ・ハイドロコロイド印象材の性質を説明できる。
4	10	2	金	4	佐々木	模型材1 (九.Ⅱ-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・模型材の種類を列挙できる。 ・模型材の性質を説明できる。
5	10	6	火	4	武本	印象材2 ゴム質印象材 非弾性印象材 (九.Ⅱ-3-C~E、Ⅳ-2、 九.Ⅱ-1-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴム質印象材の特徴を説明できる。 ・非弾性印象材の特徴を説明できる。 ・印象採得の取り扱い法を説明できる。
6	10	8	木	1	武本	印象材3 模型材2 (九.Ⅲ-4-A、Ⅳ-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・印象採得方法を説明できる。 ・概形印象と精密印象を説明できる。 ・研究用模型と作業用模型を説明できる。
7	10	20	火	4	武本	歯冠修復材(セラミックス、複合材料) (六.Ⅱ-1-D、Ⅲ-4-A、B 九.Ⅱ-4-A・C、Ⅲ-3、4)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯冠修復用セラミックスおよび複合材料を列挙できる。 ・CAD/CAMでの製作方法を説明できる。
8	10	27	火	4	佐々木	合着材/仮着材 (九.Ⅱ-2-A~C、E、 Ⅲ-4-A、Ⅳ-5-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・合着材、仮着材の種類を列挙できる。 ・合着材、仮着材の組成を列挙できる。 ・合着材、仮着材の性質を説明できる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
9	11	5	木	4	佐々木	合着材/接着材 (九.Ⅱ-2-D、 Ⅲ-4-A、Ⅳ-5-B)	<ul style="list-style-type: none"> ・接着性レジンセメントの組成を列挙できる。 ・接着性レジンセメントの性質を説明できる。 ・合着材、接着材の取り扱い方を説明できる。
10	11	11	水	3	武本	演習 ユニット1~9の内容を演習する。 (六.Ⅱ-1-B、Ⅲ-1-B、2、3、 4、5、6、九.Ⅳ-1、2、3、4-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・歯冠修復物が列挙できる。 ・歯冠修復物の製作過程を説明できる。 ・印象採得を説明できる。 ・模型材を説明できる。 ・合着材・接着材が説明できる。 ・装着手順を説明できる。
11	11	17	火	4	佐々木	成形修復材1/仮封材 (六.Ⅱ-1-D、九.Ⅱ-4-A・B、 5-A~E、Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・仮封材の種類を列挙できる。 ・成形修復材の種類を列挙できる。 ・コンポジットレジンの構成成分を列挙できる。 ・コンポジットレジンの性質を説明できる。
12	11	24	火	4	佐々木	成形修復材2 (六.Ⅱ-1-D、 九.Ⅱ-4-A・B、Ⅲ-3-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポジットレジン修復を説明できる。 ・ガラスアイオノマーセメント修復の特徴を説明できる。
13	12	1	火	4	佐々木	義歯用材料/レジン/ワックス (六.Ⅲ-1-B-a、九.Ⅱ-6-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯用材料を列挙できる。 ・アクリルレジンの組成を列挙できる。 ・アクリルレジンの性質を説明できる。 ・ワックスの種類と用途を説明できる。 ・ワックスの組成と性質を説明できる。
14	12	8	火	4	武本	歯科補綴材料 インプラント 適合試験材、粘膜調整材 リライン材 (六.Ⅲ-1-D、2-E、九.Ⅱ-6-C)	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラントに用いられる材料を列挙できる。 ・インプラント材料に要求される性質を説明できる。 ・適合試験材、粘膜調整材、リライン材の種類と組成を列挙できる。
15	12	15	火	4	武本	切削研磨/材料の基礎知識2 (九.Ⅲ-2-A)	<ul style="list-style-type: none"> ・回転切削器具の種類を列挙できる。 ・切削材、研磨材の種類を列挙できる。 ・用途に応じた切削材、研磨材を選択できる。 ・材料の硬さ、熱伝導性、耐変色性を説明できる。
	1	14	木	1	定期試験		

第1学年 歯科材料学演習

時間数	40時間（2時間×20回）
責任者・コーディネーター	教員 佐藤 佳奈枝
担当教員	教員 佐藤 佳奈枝 非常勤講師
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科診療で用いる歯科材料の基本的性質を理解し、適正な取り扱い・操作を行うために必要な基礎知識を習得する。
成績評価	小テスト・提出物・受講実習態度(身だしなみ・忘れ物を含む)により総合的に評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科診療補助論 第2版」(医歯薬出版) 歯科衛生学シリーズ「歯科材料」(医歯薬出版)
参考書	「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」第5版(永末書店)

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
1 3	10	6	火	1 3	佐藤 非常勤講師	第2実習室	印象材1 1) アルジネート印象材の取り扱い 模型用材料1 (九. II - 1 - A, 3 - A)	<ul style="list-style-type: none"> アルジネート印象材の練和ができる。 局部トレーを使用し、顎模型の印象採得ができる。 石膏の取り扱いができる。 石膏模型を作製できる。
4 5	10	13	火	1 2	佐藤 非常勤講師	第2実習室	印象材2 スタディモデルの作製 (マネキン実習) 1) マネキンを用いた概形印象採得 模型用材料2 1) 石膏模型の作製 直接台付け (九. II - 3 - A, IV - 2) (九. II - 1 - A)	<ul style="list-style-type: none"> マネキン上で全顎の印象採得ができる。 普通石膏の取り扱いができる。 気泡を入れずに印象体に普通石膏を注入できる。 スタディモデルを作製できる。
6 8	10	20	火	1 3	佐藤 非常勤講師	第2実習室 実験室	印象材3 1) 寒天印象材の取り扱い 2) 寒天・アルジネート連合印象採得 3) 石膏模型の作製 4) モデルトリマーの取り扱い (九. II - 3 - A・B, III - 4 - Aa)	<ul style="list-style-type: none"> 寒天印象材の取り扱いができる。 2級窩洞模型を用いて寒天アルジネート連合印象採得ができる。 超硬質石膏を用いて模型作製ができる。 モデルトリマーの取り扱いができる。
9	10	21	水	3	佐藤 非常勤講師	第2実習室	合着材/仮着材/接着材1 1) 各種セメントの取り扱い (九. II - 2 - A~E, III - 4 - A, IV - 5 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 各種セメント練和のための準備ができる。 基本的なスパチュラ操作ができる。
10 11	10	28	水	3 4	佐藤 非常勤講師	第2実習室	印象材4 1) ゴム質印象材の取り扱い 2) 非弾性印象材の取り扱い (九. II - 3 - C~E, IV - 2)	<ul style="list-style-type: none"> ゴム質印象材の準備ができる。 ゴム質印象材の練和ができる。 酸化亜鉛ユージノール印象材の取り扱いができる。 モデリングコンパウンドの取り扱いができる。
12 13	11	10	火	1 2	佐藤 非常勤講師	第2実習室	合着材/仮着材/接着材2 1) 合着材の取り扱い 2) 接着材の取り扱い (九. II - 2 - A~E, III - 4 - A, IV - 5 - B)	<ul style="list-style-type: none"> 各種合着材の練和ができる。 各種接着性レジンセメントの特徴を説明できる。 接着性レジンセメントの取り扱いができる。
14 15	11	19	木	3 4	佐藤 非常勤講師	第2実習室	合着材/仮着材/接着材3 1) 仮着材の取り扱い 2) 仮封材の取り扱い (九. II - 2 - E, 5 - A~D)	<ul style="list-style-type: none"> 各種仮封材の特徴を説明できる。 各種仮封材の取り扱いができる。 各種仮着材の取り扱いができる。
16 17	11	26	木	3 4	佐藤 非常勤講師	第2実習室	成形修復材 1) 成形修復材の取り扱い (六. II - 1 - D, 九. II - 4 - A・B, III - 3 - A)	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットレジンとグラスアイオノマーセメントによる成形修復の準備ができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	使用施設	講義・実習項目 (国試出題基準)	学習到達目標
18	12	14	月	3	佐藤 非常勤講師	第2実習室	根管治療用材料 1) 根管治療に使用する材料 2) 根管充填に使用する材料 (六.Ⅱ-2-I、 九.Ⅲ-7-C)	<ul style="list-style-type: none"> 根管充填材の組成を説明できる。 根管充填用セメントの種類と特徴を理解できる。 根管充填用セメントの取り扱いができる。
19	2	15	月	1	佐藤 非常勤講師	第2実習室	歯科補綴材料 1) 適合試験材、粘膜調整材 リライン材の取り扱い (六.Ⅲ-1-B・De、2-E) 九.Ⅳ-5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 床義歯装着時に用いる適合試験材、粘膜調整材、リライン材の準備と取り扱いができる。
20	2	15	月	2	佐藤 非常勤講師	第1実習室	義歯用材料 1) 常温重合レジンの取り扱い 2) 切削器具、研磨材の取り扱い (九.Ⅱ-6-B、Ⅳ-4-A、 Ⅳ-5-A・B)	<ul style="list-style-type: none"> 常温重合レジンの準備と取り扱いができる。 レジン、金属の切削、研削、研磨ができる。

第1学年 病院等臨床実習Ⅰ期

時間数	53.5時間
責任者・コーディネーター	教員 太田 彩香
担当教員	岩手医科大学附属病院歯科医療センター 歯科医師、歯科衛生士 盛岡市立病院歯科 歯科医師、歯科衛生士 教員 太田 彩香
実務経験	歯科医師、歯科衛生士
一般目標	歯科臨床の現場において、診療を見学し、チーム医療の一員としての歯科衛生士の役割と責任を学ぶとともに、歯科臨床の概要を理解する。
成績評価	9割以上の出席を必須とし、実習評価(80%)とレポート(20%)により評価する。
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	10	金	3・4	太田	歯科医療センター 施設見学	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
2	7	17	金	1・2	太田	矢巾附属病院 施設見学	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
	12	18	金	3	太田	実習オリエンテーション	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
	1	22	金	1・2	太田	盛岡市立病院実習オリエンテーション	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
3	1	22	金	3・4	太田	盛岡市立病院 施設見学	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
	1	25	月	1・2	太田	歯科医療センター実習オリエンテーション	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
4	1	25	月	3・4	太田	歯科医療センター 実習控室準備	・施設の概要を理解し、安全に実習するための準備を行う。
5 (11	1) 3	26) 5	火) 金	1) 4	岩手医科大学附属 内丸メディカルセンター 歯科医療センター 盛岡市立病院 歯科医師 歯科衛生士	岩手医科大学附属内丸メディカルセンター 歯科医療センター 高度先進保存科 高度先進補綴科 口腔総合診療科 矯正歯科 口腔インプラント科 盛岡市立病院 歯科(2日間) 1)診療開始前の準備 2)器材器具及び材料の取り扱い 3)歯科診療の見学 4)患者誘導及び接し方の見学 5)各症例ごとの後始末	・診療室のルールを理解できる。 ・医療安全管理に配慮した行動ができる。 ・感染予防(消毒・滅菌、手指消毒)対策に応じた行動ができる。 ・器材、機器および薬品の管理の方法を理解した行動ができる。 ・患者のデータ資料の管理方法を理解できる。 ・スタッフ間の連携、共同動作について理解できる。
期間中、7日間の臨床実習を行う。							

第1学年 臨地実習 [歯科保健指導実習(幼稚園・小学校)]

時間数	18時間
責任者・コーディネーター	教務主任 鈴木 奈津子
担当教員	教務主任 鈴木 奈津子
実務経験	歯科衛生士
一般目標	歯科衛生士の役割を理解するために、認定こども園・小学校での実習を通して必要な実践力を身につける。
成績評価	レポート評価(100%)
教科書	
参考書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論」(医歯薬出版) 「オーラルヘルスケア辞典」(学建書院)

回数	月	日	曜日	時 限	担当教員	講義・実習項目	学習到達目標
1 ・ 2	4	28	火	1 ・ 2	鈴木	幼稚園実習オリエンテーション	・ 幼稚園実習の概要を理解する。
3 ┌ 5	5	7	木	1 ┌ 3	鈴木	幼稚園児に対する 歯科保健指導実習 1) 臨地実習準備 2) 園児・保護者・職員に対する 挨拶 3) 集団歯科保健指導 4) 歯科保健指導(個人)	・ 幼児への接し方を理解する。 ・ 発達段階に応じた歯科保健指導の 課題について理解する。
	5	8	金				
6	6	11	木	2	鈴木	小学校実習オリエンテーション	・ 小学校実習の概要を理解する。
演 習	6	12	金	1 ・ 2	鈴木	小学校実習リハーサル (第2学年と合同)	・ 臨地実習における自分の役割を理 解する。 ・ 対象者の気持ちを理解できる。
演 習	6	15	月	3 ・ 4	鈴木	小学校実習リハーサル (第2学年と合同)	・ 臨地実習における自分の役割を理 解する。 ・ 対象者の気持ちを理解できる。
7 ┌ 9	6	17	水	1 ┌ 3	鈴木	小学校児童に対する 歯科保健指導実習 1) 臨地実習準備 2) 児童・教諭・職員に対する 挨拶 3) 小学校児童に対する歯科 保健指導	・ 学童への接し方を理解する。 ・ 発達段階に応じた歯科保健指導の 課題について理解する。

第1学年 臨地実習 [障害者福祉施設歯科保健指導実習]

時間数	12時間
責任者・コーディネーター	教員 鳥畑 美香
担当教員	教員 鳥畑 美香
実務経験	歯科衛生士
一般目標	知的障害者・身体障害者に対して適切に歯科保健指導を行う能力を身につけるため、障害者福祉施設において、対象者の情報収集と理解・コミュニケーション・歯科保健指導及び援助の方法について習得する。
成績評価	実習記録・口腔内チャート、日常点を総合評価する。
教科書	歯科衛生学シリーズ「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」(医歯薬出版) オーラルヘルスケア事典(学建書院)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目	学習到達目標
1	10	9	金	1 5 3	鳥畑	知的障害者に対する 歯科保健指導実習 [障害者支援施設 緑生園] 1) 臨地実習準備 2) 入所者・職員に対する挨拶 3) 知的障害者に対する 歯科保健指導(40分間) ①医療面接 ②口腔内の観察と記録 ③歯垢の顕示と観察 ④日常のブラッシングと観察 ⑤ブラッシング指導 ⑥生活面に視点をおいた 歯科保健指導 ⑦ホームケアのポイント指導 ⑧まとめ 緑生園園長 特別講義 緑生園と知的障害者について 4) 施設内見学 5) 臨地実習終了後始末 6) 実習記録の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に関する準備が確実にできる。 ・対象者の状況把握に努め配慮した適切な対応ができる。 ・コミュニケーションをとることができる。 ・医療面接を的確に行うことができる。 ・口腔内の状態を観察し、チャートに記録できる。 ・対象者に合った適切な歯科保健指導ができる。 ・毎日の生活状況から歯科的問点を掌握し、良い状況に導くための指導ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者入所更生施設と入所者の概要を説明できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防を基本とした後始末が確実にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・実習記録において、ポイントをまとめ丁寧に記録することができる。 ・PCRを正しく算出することができる。

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目	学習到達目標
2	11	18	水	1 ～ 3	鳥畑	身体障害者に対する 歯科保健指導実習 [障害者支援施設 岩手ワークショップ] 1) 臨地実習準備 2) 入所者・職員に対する挨拶 3) 身体障害者に対する 歯科保健指導(50分間) ①医療面接 ②口腔内の観察と記録 ③歯垢の顕示と観察 ④日常のブラッシングと観察 ⑤ブラッシング指導 ⑥生活面に視点をおいた 歯科保健指導 ※義歯装着者に対する指導 ※聴覚障害者・視覚障害者 に対する指導 ⑦ホームケアのポイント指導 ⑧まとめ 4) 施設内見学 5) 臨地実習終了後始末 6) 実習記録の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に関する準備が確実にできる。 ・対象者の状況把握に努め配慮した適切な対応ができる。 ・コミュニケーションをとることができる。 ・医療面接を的確に行うことができる。 ・口腔内の状態を観察し、チャートに記録できる。 ・対象者に合った適切な歯科保健指導ができる。 ・毎日の生活状況から歯科的問点を掌握し、良い状況に導くための指導ができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防を基本とした後始末が確実にできる。 <ul style="list-style-type: none"> ・実習記録において、ポイントをまとめ丁寧に記録することができる。 ・PCRを正しく算出することができる。

第1学年 接遇

時間数	16時間（2時間×8時間）
担当者	ヒット・ビジネスコンサルティング 及川 敦子
一般目標	一般社会や保健医療現場において、相手の立場を考えた気遣いができ、正しい接遇・マナーを身につけ、自然にふるまえるようになるために、接遇の基礎知識を学び、接遇・マナーの実際を習得する。
成績評価	レポート(70%) 日常点(30%)
教科書	実践ビジネスマナー第15版 (ウィネット)
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	8	水	3	及川	接遇の概論 1) 接遇とは 2) 接遇の現代的意義 3) 医療現場での接遇の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇の意義を説明できる。 ・接遇の現代的意義を説明できる。 ・医療現場における接遇の必要性を説明できる。
2	4	15	水	3	及川	接遇の実際 1 1) 言葉遣いのマナー 2) 敬語の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉遣いのマナーを説明できる。 ・敬語の基本を具体的に述べることができる。
3	4	22	水	3	及川	接遇の実際 2 1) 敬語の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の応用を具体的に述べることができる。
4	5	20	水	3	及川	接遇の実際 3 1) 慶弔、贈答のマナー 2) 表書きのマナー(実習) 3) 招待状のマナー(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・慶弔、贈答のマナーを説明できる。 ・葉書等の表書きのマナーを実践できる。 ・招待状に関するマナーを実践できる。
5	5	27	水	3	及川	接遇の実際 4 1) 受付応対のマナー 2) 美しいおじぎの仕方 3) 席次のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・受付応対のマナーを説明できる。 ・美しいおじぎができる。 ・席次について説明できる。
6	6	24	水	3	及川	接遇の実際 5 1) 電話応対のマナー 2) 電話取次ぎの仕方 3) 伝言の受け方	<ul style="list-style-type: none"> ・電話応対のマナーが説明できる。 ・電話取次ぎを実践できる。 ・伝言の受け方を実践できる。
7	7	1	水	3	及川	スピーチトレーニング 1) 自己表現力の方法 2) 共感能力・傾聴能力の訓練 3) 主体性の訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・自己表現力のあるスピーチができる。 ・相手のスピーチで共感したことを説明できる。 ・相手のスピーチを傾聴することができる。 ・主体性のあるスピーチができる。
8	7	8	水	3	及川	レポート形式の総括テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇の意義を理解できる。 ・医療人としての患者観を理解している。 ・医療現場における接遇の必要性を理解できる。 ・医療関係の用語を漢字で書くことができる。

第1学年 コミュニケーション論

時間数	18時間 (2時間×9回)
担当者	比屋根 由美子
一般目標	歯科衛生士として、聴覚障害をもつ患者との信頼関係を築くため、聴覚障害について理解と認識を深め、会話に必要な簡単な手話読取及び手話表現技術を習得する。
成績評価	実技(表出20%読取20%)、基礎知識(30%)レポート(20%)、授業態度(10%)で総合評価。
教科書	「今すぐはじめる手話テキスト 聴さんと学ぼう！」(一財)全日本ろうあ連盟
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当者	講義・実習項目	学習到達目標
1	4	9	木	3	比屋根	聴覚障害の基礎知識 1	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害について理解する。 ・聴覚障害者の生活を知る。 ・きこえないことの多様性を知る。 ・簡単なあいさつの手話を覚える。
2	4	16	木	3	比屋根	聴覚障害の基礎知識 2	<ul style="list-style-type: none"> ・耳の仕組みについて理解する。 ・聴覚障害者との会話を想定して、音声以外の伝達方法を考える。 ・指文字を習得する。
3	4	23	木	3	比屋根	聴覚障害の基礎知識 3 聴覚障害の種類について考える	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな聴覚障害者とのコミュニケーションの際の留意点を理解する。 ・あいさつと自己紹介。 ・自分の名前を手話で表現する。
4	4	30	木	3	比屋根	手話による会話 1 挨拶・自己紹介 数字を使う表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数字の表現を習得する。 ・あいさつと自己紹介(復習) ・簡単な手話で会話する。
5	5	14	木	3	比屋根	手話による会話 2 家族・趣味	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の手話表現。 ・趣味の手話表現。 ・きこえない人と災害について考える。
6	5	21	木	3	比屋根	手話による会話 3 時間の表現	<ul style="list-style-type: none"> ・時間についての表現を理解する ・相手に伝わりやすい手話表現の技術を習得する。 ・相手の簡単な手話が理解できる。
7	5	28	木	3	比屋根	歯科診療室においての手話 1 医療に関する単語 歯科に関する単語	<ul style="list-style-type: none"> ・診察室や保健指導等の場面における聴覚障害者への理解ができる。 ・手話等で相手に合わせて会話する。
8	6	4	木	3	比屋根	歯科診療室においての手話 2 会話練習 ロールプレイ	<ul style="list-style-type: none"> ・診察室での会話文を練習する。 ・ロールプレイで実際の会話を経験する。
9	6	11	木	3	比屋根	試験	<ul style="list-style-type: none"> ・手話単語の読取(実技)。 ・聴覚障害についての知識。 ・レポート。

第1学年 特別講義

時間数	4時間
責任者・コーディネーター	教務主任 鈴木 奈津子
担当教員	岩手医科大学附属病院 歯科医療センター長 岩手医科大学附属病院 歯科衛生部 歯科衛生士長
実務経験	歯科医師、歯科衛生士
一般目標	実習に臨むにあたり、実習施設の概要、特色とその役割について学び、実習生としての自覚を持つ。
成績評価	出席をもって評価する
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目	学習到達目標
1			期日未定		歯科医療センター長	歯科医療センターの概要と臨床実習における心構え	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療センターの概要を理解する。 ・臨床実習 I 期に臨むにあたっての心構えを持つことが出来る。
2			期日未定		歯科衛生士長	歯科医療センターにおける歯科衛生部の役割について	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医療センターにおける歯科衛生部、歯科衛生士の役割について理解する。

第1学年 特別講義

時間数	2時間
責任者・コーディネーター	企業担当者
担当教員	企業担当者
一般目標	歯科保健指導をするために必要な口腔ケア用品の知識を企業主催のセミナーで学ぶ。
成績評価	出席をもって評価する
教科書	
参考書	

回数	月	日	曜日	時限	担当教員	講義・実習項目	学習到達目標
1	9	16	水	2	企業担当者	企業セミナー 口腔ケア用品の基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア用品の種類を概説でき ・歯科に関わる企業の概要を説明できる。